

明治薬科大学

教育活動等の改善のための卒業生アンケート 報告書

2024年度

2024年9月27日

明治薬科大学

進路就職支援委員会

調査概要

調査目的

卒業後3年を経た卒業生の就業状況および満足度を調査することにより、その傾向を把握するとともに、今後の進路就職支援への活用を目的とする。

調査時期

◆ 2024年8月1日（木）～8月30日（金）

調査方法

◆ Webアンケート

調査対象者

◆ 卒業後3年を経た 明治薬科大学・大学院 2021年3月卒業生

【配布数・回答数・有効回答率】

		配布数	回答数	有効回答数	有効回答率	
2024年調査	薬学部	薬学科	302	97	97	32.1%
		生命創薬科学科	15	4	4	26.7%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	36	9	9	25.0%
		合計	353	110	110	31.2%
2023年調査	薬学部	薬学科	293	68	68	23.2%
		生命創薬科学科	35	3	3	8.6%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	36	16	16	44.4%
		合計	364	87	87	23.9%
2022年調査	薬学部	薬学科	275	109	109	39.6%
		生命創薬科学科	23	7	7	30.4%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	34	11	11	32.4%
		合計	332	127	127	38.3%
2021年調査	薬学部	薬学科	259	88	85	32.8%
		生命創薬科学科	28	5	4	14.3%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	63	4	3	4.8%
		合計	350	97	92	26.3%

※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため、本報告書内容に関しても参考値とさせていただきます。

【回答者の卒業学科×性別】

※有効回答に限る

		男性	女性	性別無回答	
2024年調査	薬学部	薬学科	30	67	—
		生命創薬科学科	1	3	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	7	2	—
		男女別合計	38	72	0
		男女比率	34.5%	65.5%	0.0%
	2023年調査	薬学部	薬学科	22	45
生命創薬科学科			2	1	—
大学院		薬学研究科 博士（前期）	7	9	—
		男女別合計	31	55	1
		男女比率	35.6%	63.2%	1.1%
2022年調査		薬学部	薬学科	35	74
	生命創薬科学科		5	2	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	7	4	—
		男女別合計	47	80	0
		男女比率	37.0%	63.0%	0.0%
	2021年調査	薬学部	薬学科	23	61
生命創薬科学科			3	1	—
大学院		薬学研究科 博士（前期）	0	3	—
		男女別合計	26	65	1
		男女比率	28.3%	70.7%	1.1%

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

**キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことがあるのは
回答者全体の78.2%**

回答者全体のうち、大学・大学院に在学した当時、キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことがあるのは78.2%で、2023年調査と比べスコアが10.4ptも増加。

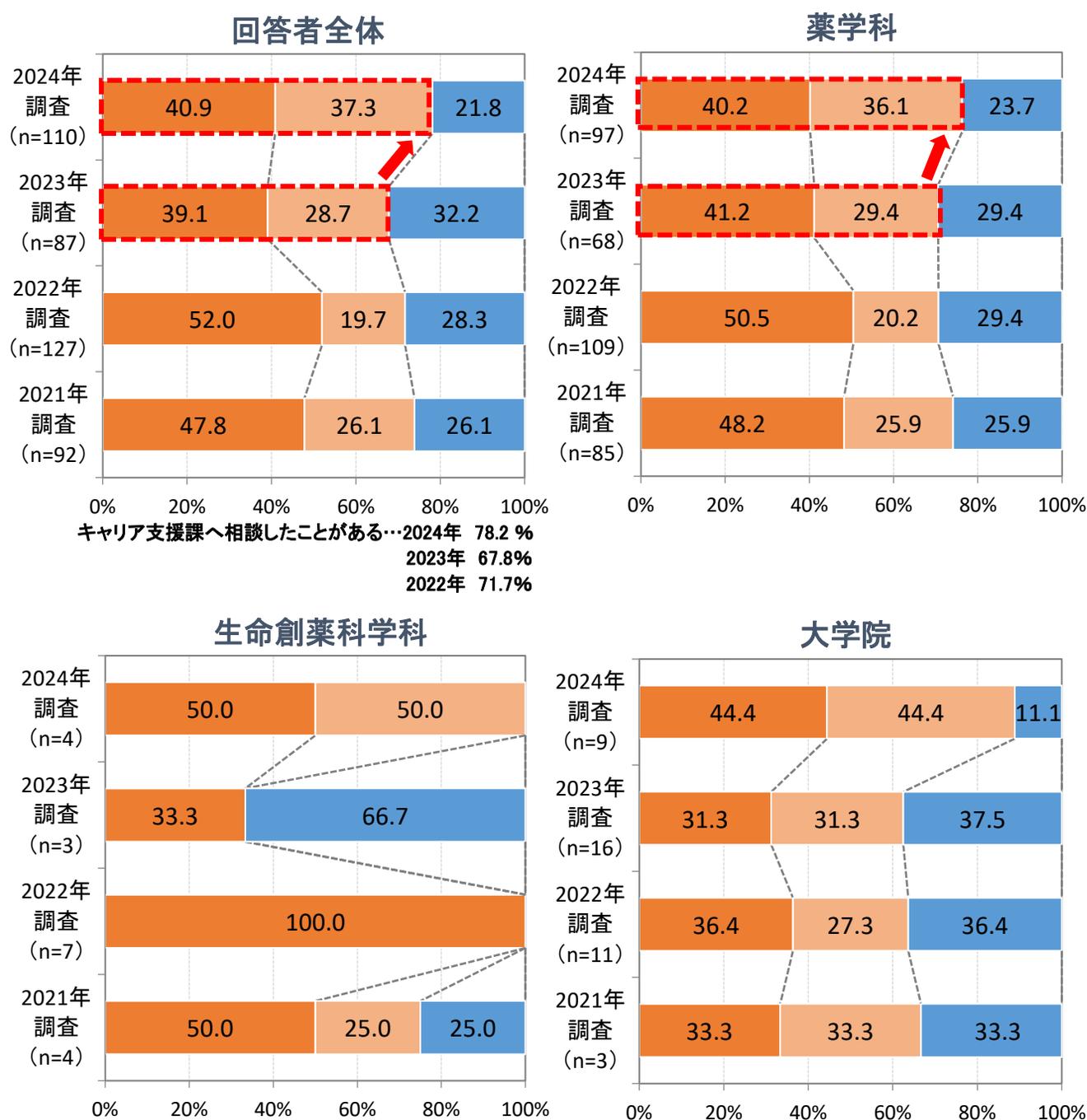
薬学科では、キャリア支援課を活用した卒業生が76.3%で、2023年調査より5.7pt増加。

回答者全体・薬学科ともに「何度も相談した」のスコアが40%で、2023年調査から横ばい。

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きします。

■ Q1-1. あなたが明治薬科大学に在学中、キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことはありますか？

■ 1. 何度も相談をした ■ 2. 一度だけ相談をした ■ 3. 相談したことはない



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

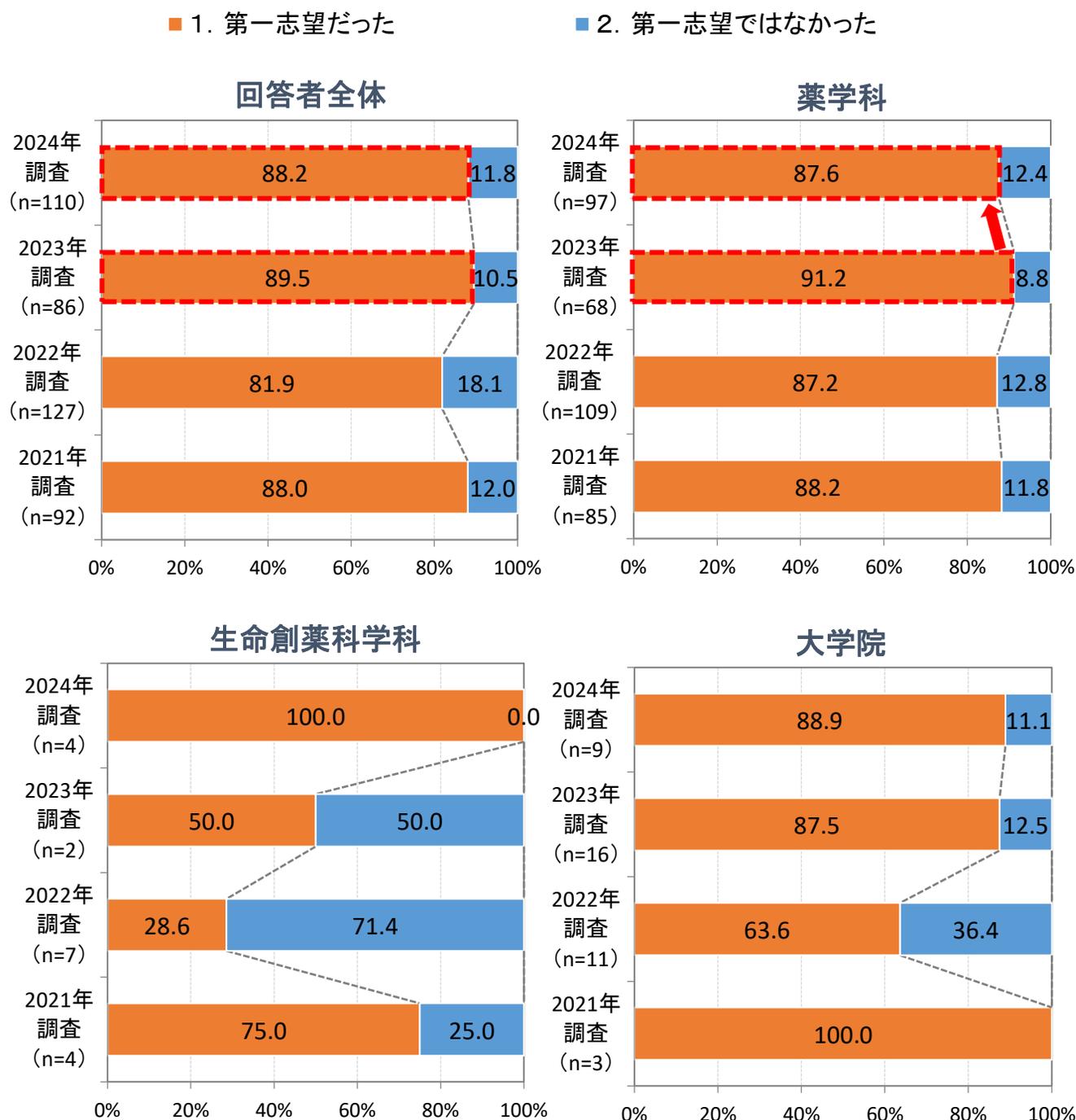
回答者全体のうち、88.2%が
第一志望の業種へ就職

回答者全体のうち、明治薬科大学の卒業時に決まっていた(内定を獲得していた)就職先について、業種が「第一志望だった」のは88.2%。2023年調査から横ばい。

薬学科では、「第一志望だった」が87.6%で、2023年調査より3.6pt減少。

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きします。

■ Q1-2. 明治薬科大学を卒業する際、決まっていた就職先の業種は当時の第一志望でしたか？



設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

回答者全体のうち、98.2%が
第一志望の職種へ就職

明治薬科大学の卒業時に決まっていた(内定を獲得していた)就職先について、回答者全体のうち職種が「第一志望だった」のは、98.2%。2023年調査に比べ5.2pt増加。

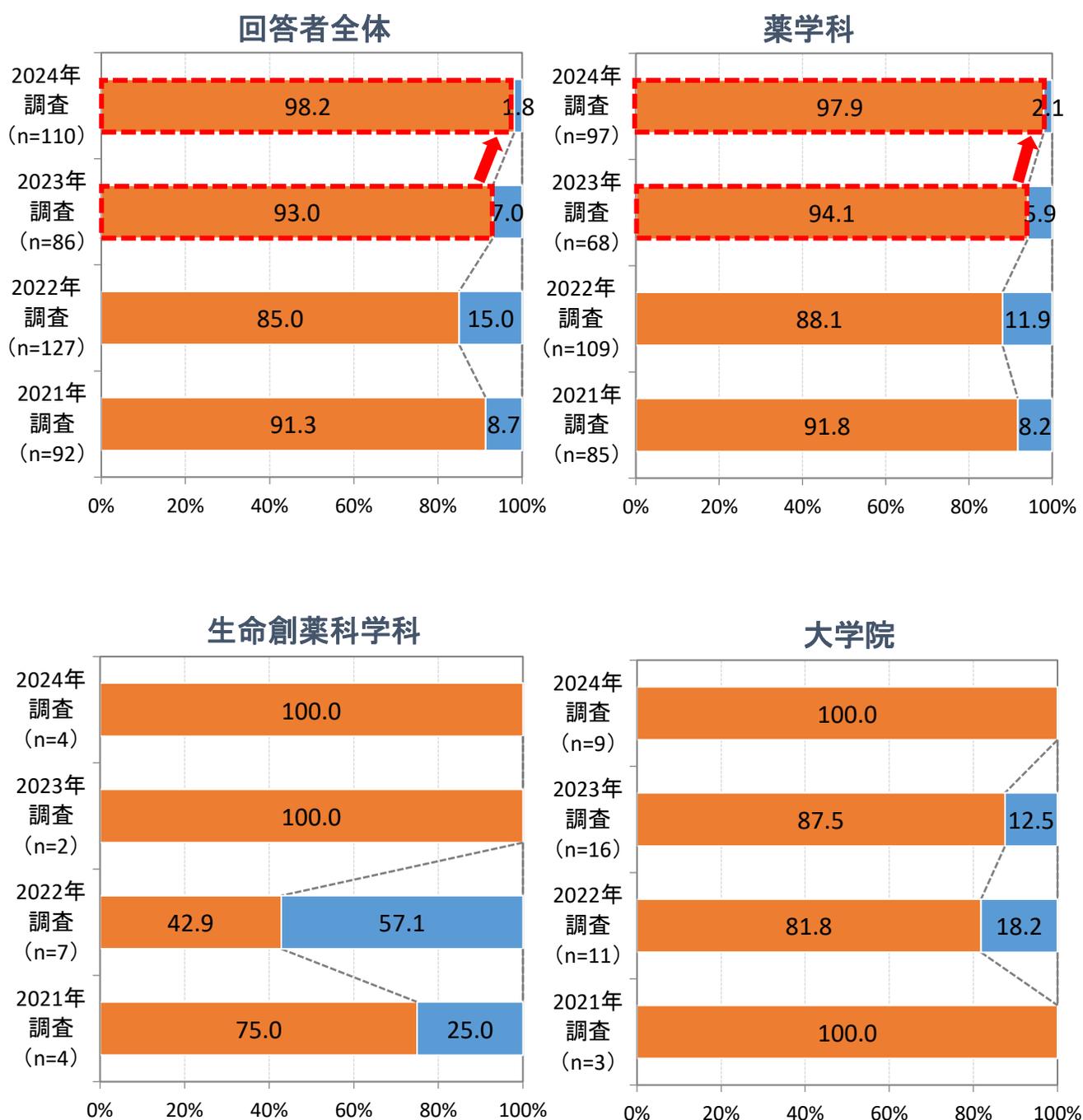
薬学科では、「第一志望だった」が97.9%。2023年調査に比べ3.8pt増加。

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きします。

■ Q1-3. 明治薬科大学を卒業する際、決まっていた就職先の職種は当時の第一志望でしたか？

■ 1. 第一志望だった

■ 2. 第一志望ではなかった



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問2. 大学卒業後の就業状況について

**全体のファーストキャリアの業種について、
「保険薬局」「ドラッグストア」「病院」で66.4%を占める。
「病院」が増加し、「ドラッグストア」は大幅に減少。**

大学卒業後の最初の業種について、回答者全体のうち66.4%が「保険薬局」「ドラッグストア」「病院」のうちいずれかに就職。2023年調査と比べ、「病院」のスコアは5.2pt増加。
経年でみると、「病院」は増加に転じ、「ドラッグストア」が8.5pt減少。

薬学科では、「保険薬局」「ドラッグストア」「病院」の合計が73.2%と2023年調査と比べ減少、特に「ドラッグストア」が大幅減。

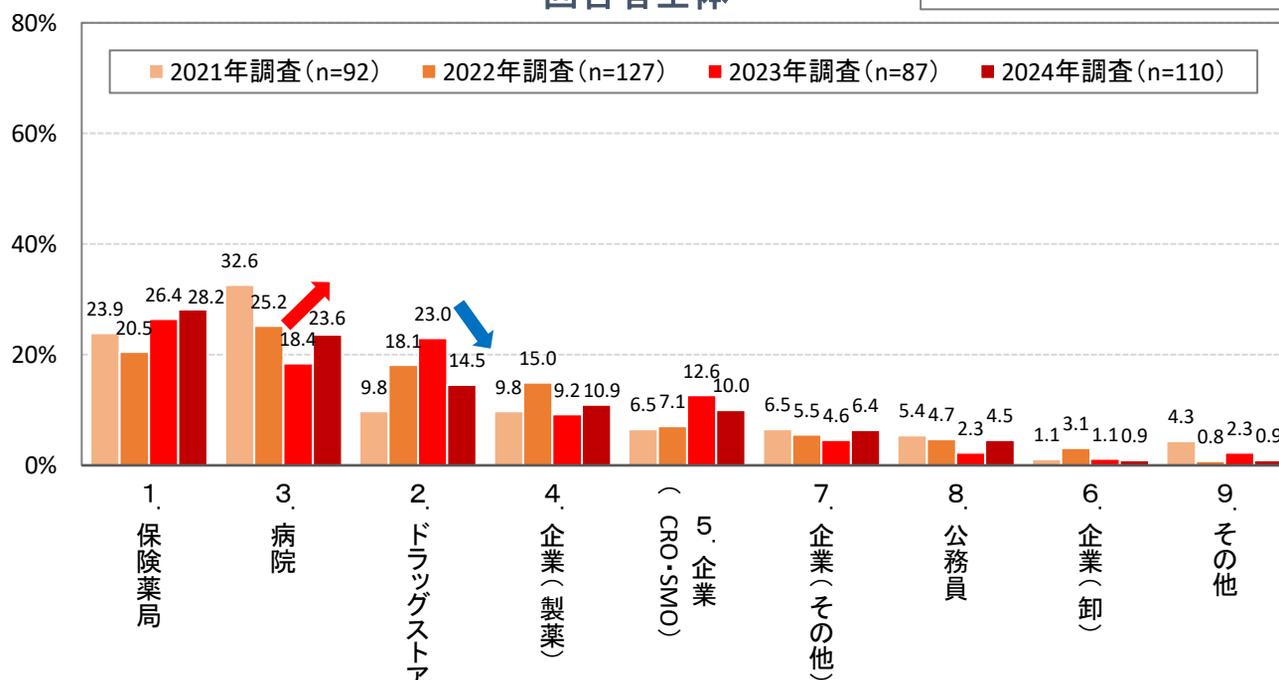
設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■ Q2-1. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

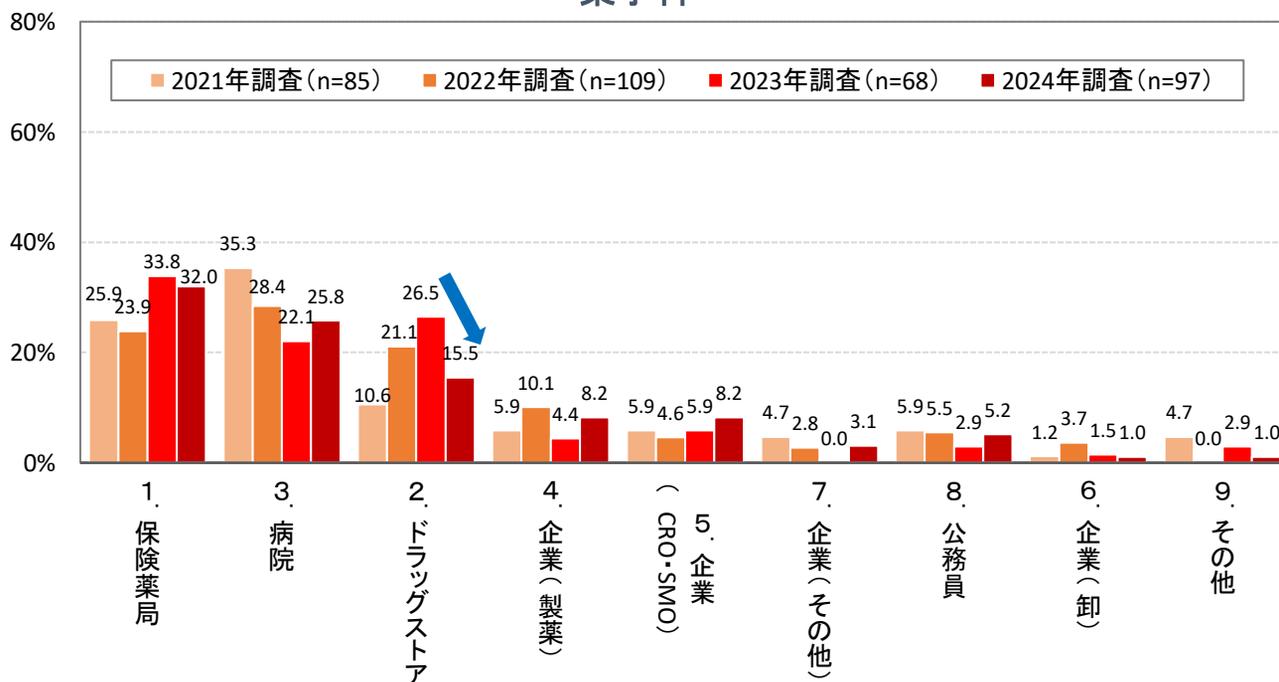
その他内訳
●薬学科
公務員：5名
講師：1名

※2024年調査全体スコアで降順ソート

回答者全体



薬学科

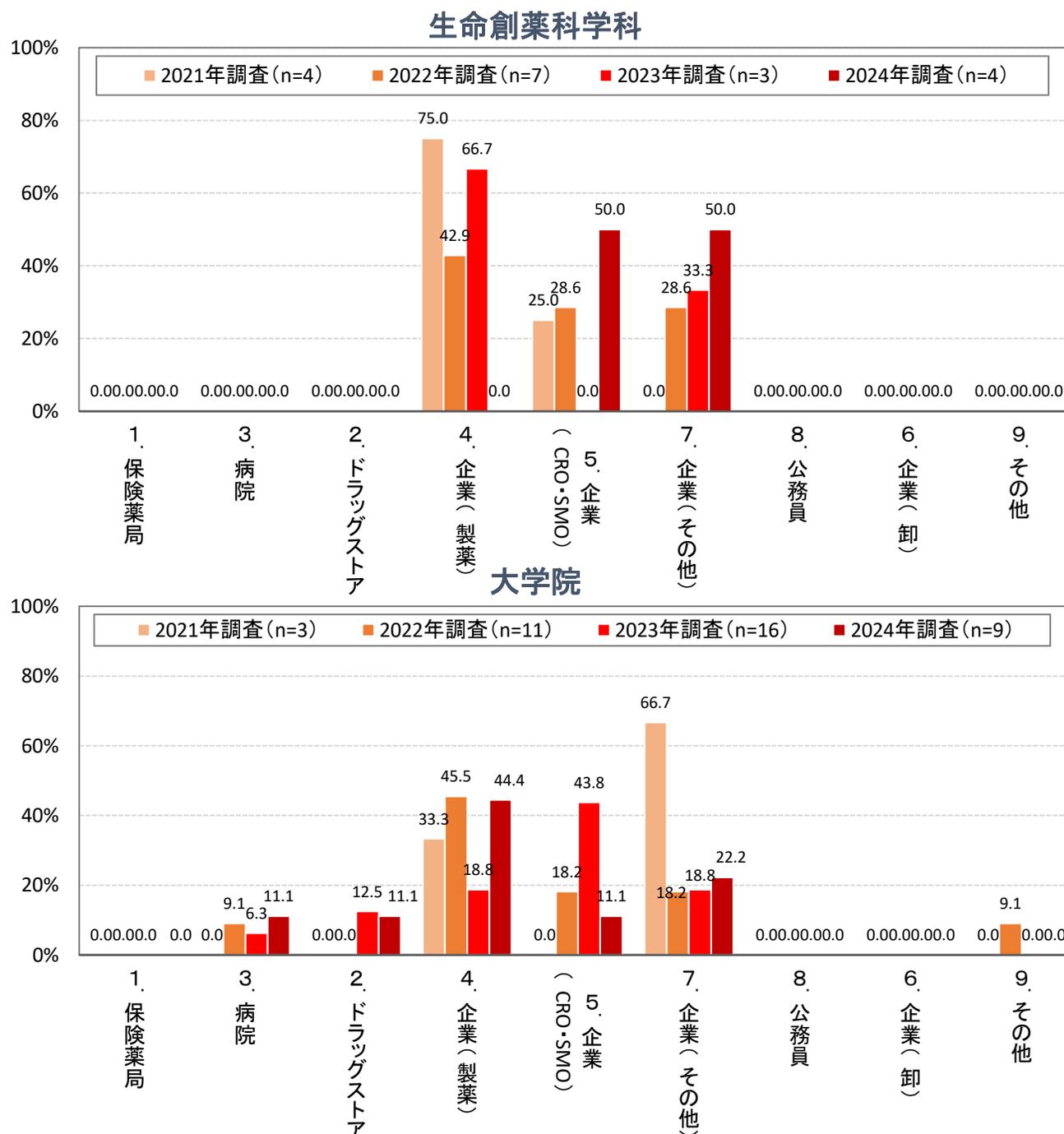


設問2. 大学卒業後の就業状況について

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■Q2-1. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2024年調査全体スコアで降順ソート



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問2. 大学卒業後の就業状況について

薬学科の大学卒業後のファーストキャリアでは、**74.2%が「薬剤師」として就職**

大学卒業後の最初の職種について、回答者全体のうち67.3%が「薬剤師」として就職。2023年調査より微減。

薬学科では、「薬剤師」が74.2%。2023年調査と比べ11.1pt減少し過去調査以来、最も低い。また、「臨床開発職」が2023年調査より大幅に増加。

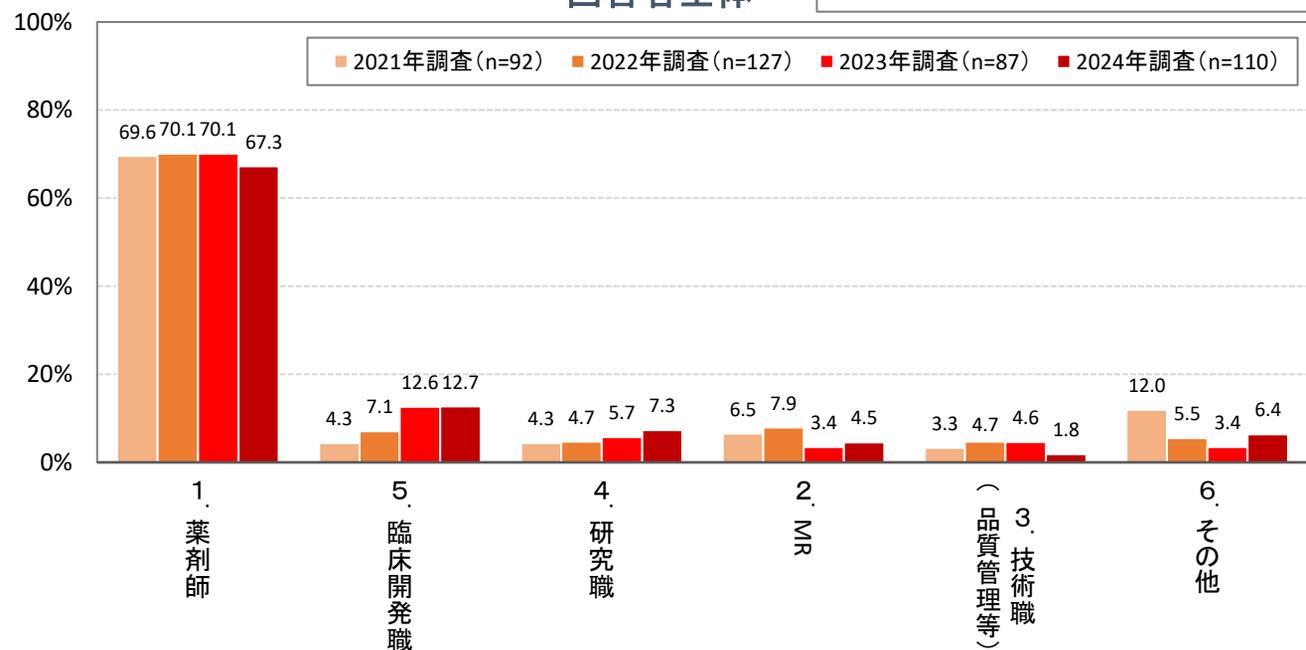
設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■Q2-2. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した職種についてあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

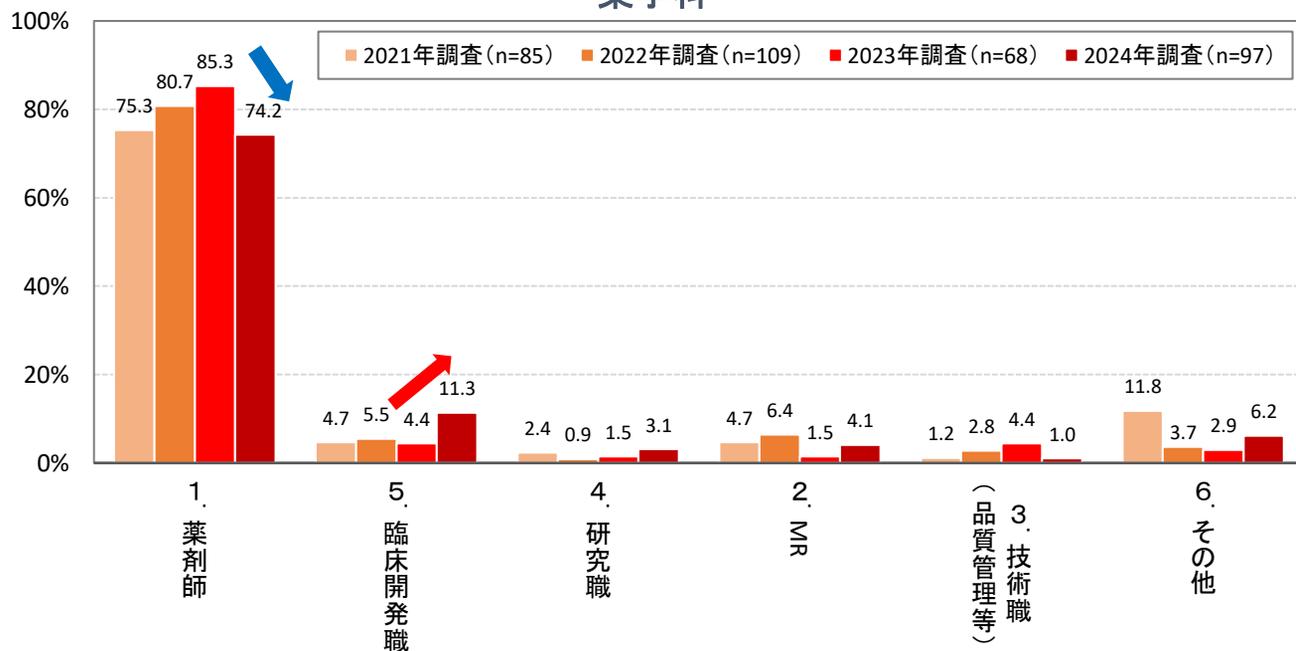
※2024年調査全体スコアで降順ソート

その他内訳	
●薬学科	検査技術職：1名
キャリア官僚：1名	薬剤師補佐：1名
薬事職：1名	●生命創薬科学科
薬剤師兼企画職：1名	編集職：1名
講師：1名	

回答者全体



薬学科

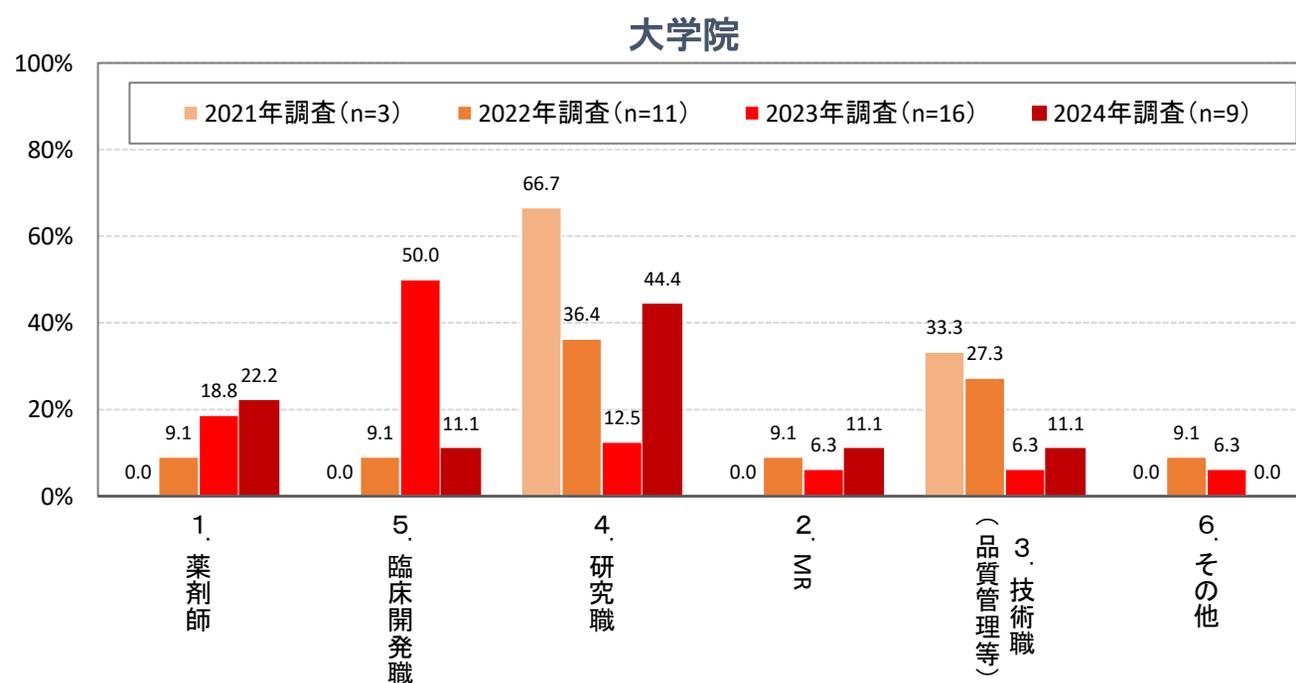
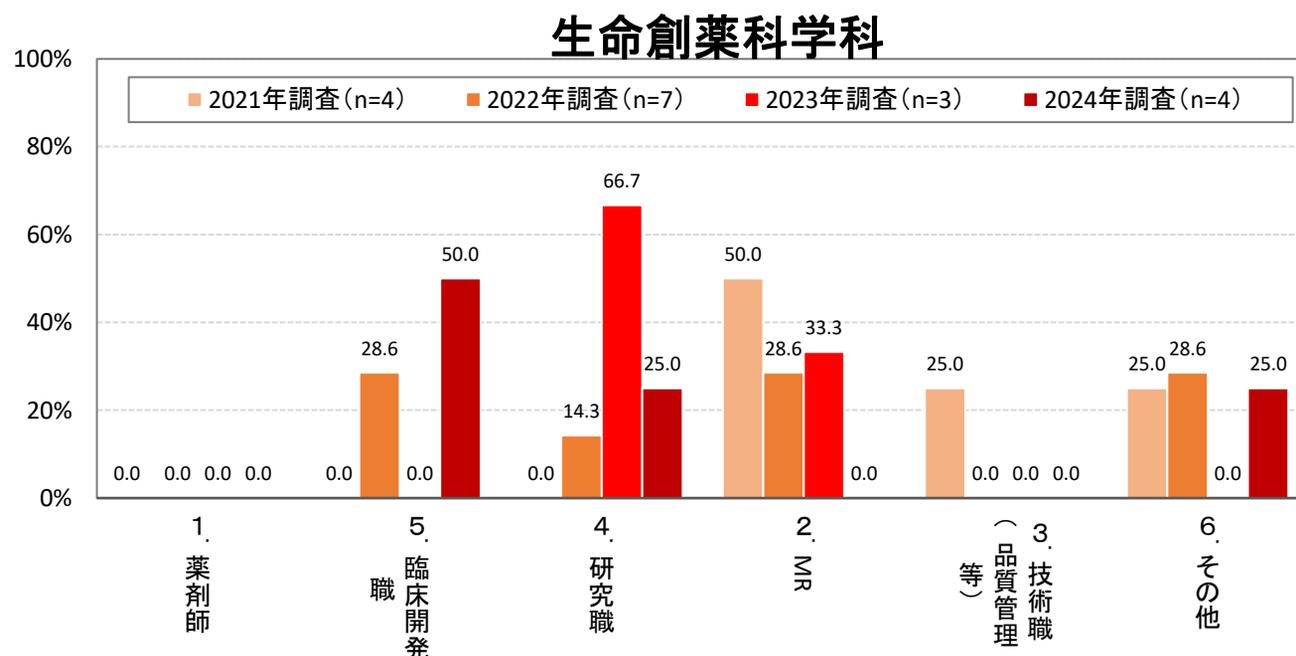


設問2. 大学卒業後の就業状況について

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■ Q2-2. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2024年調査全体スコアで降順ソート



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 2. 大学卒業後の就業状況について

回答者全体では、3年以上ファーストキャリアにとどまったのは82.7%

最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)に「3年以上」勤めているのは、回答者全体のうち82.7%と2023年調査より17.2pt増加し、過去4年で8割を超えた。「1～3年未満」は15.1pt減少。

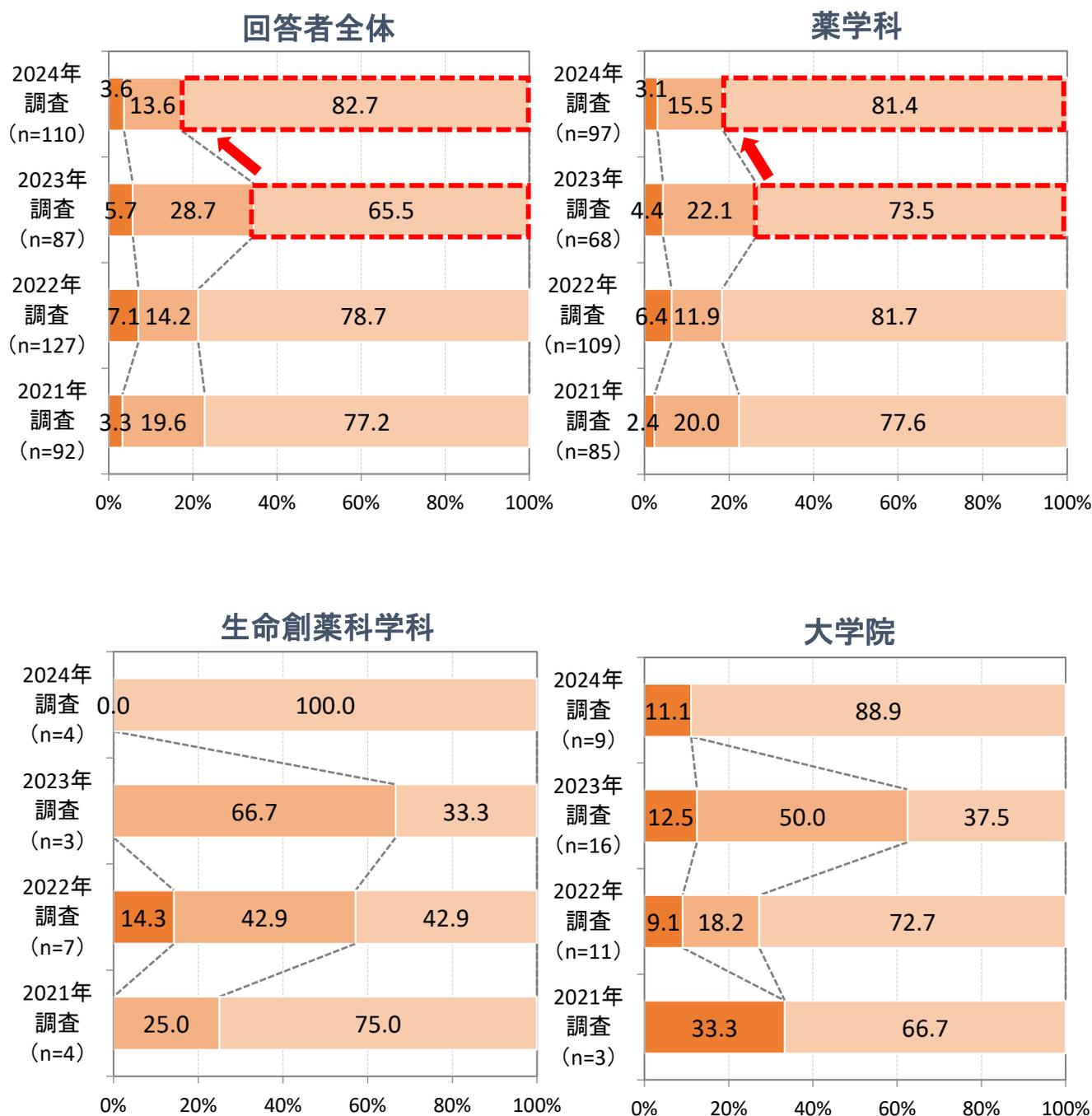
薬学科では「3年以上」が81.4%。

2023年調査に比べ「1～3年未満」が6.6pt減少、「3年以上」は7.9ptと増加し全体同様、8割を超える。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きます。

■ Q2-3. あなたが明治薬科大学を卒業して 最初の就業先 について勤続年数を教えてください。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

■ 1. 1年未満 ■ 2. 1～3年未満 ■ 3. 3年以上



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問3. 転職・離職経験について

転職・離職の経験がある人は 回答者全体のうち16.3%

転職・離職の経験があるのは、回答者全体のうち16.3%と、2023年調査より5.4pt減少。

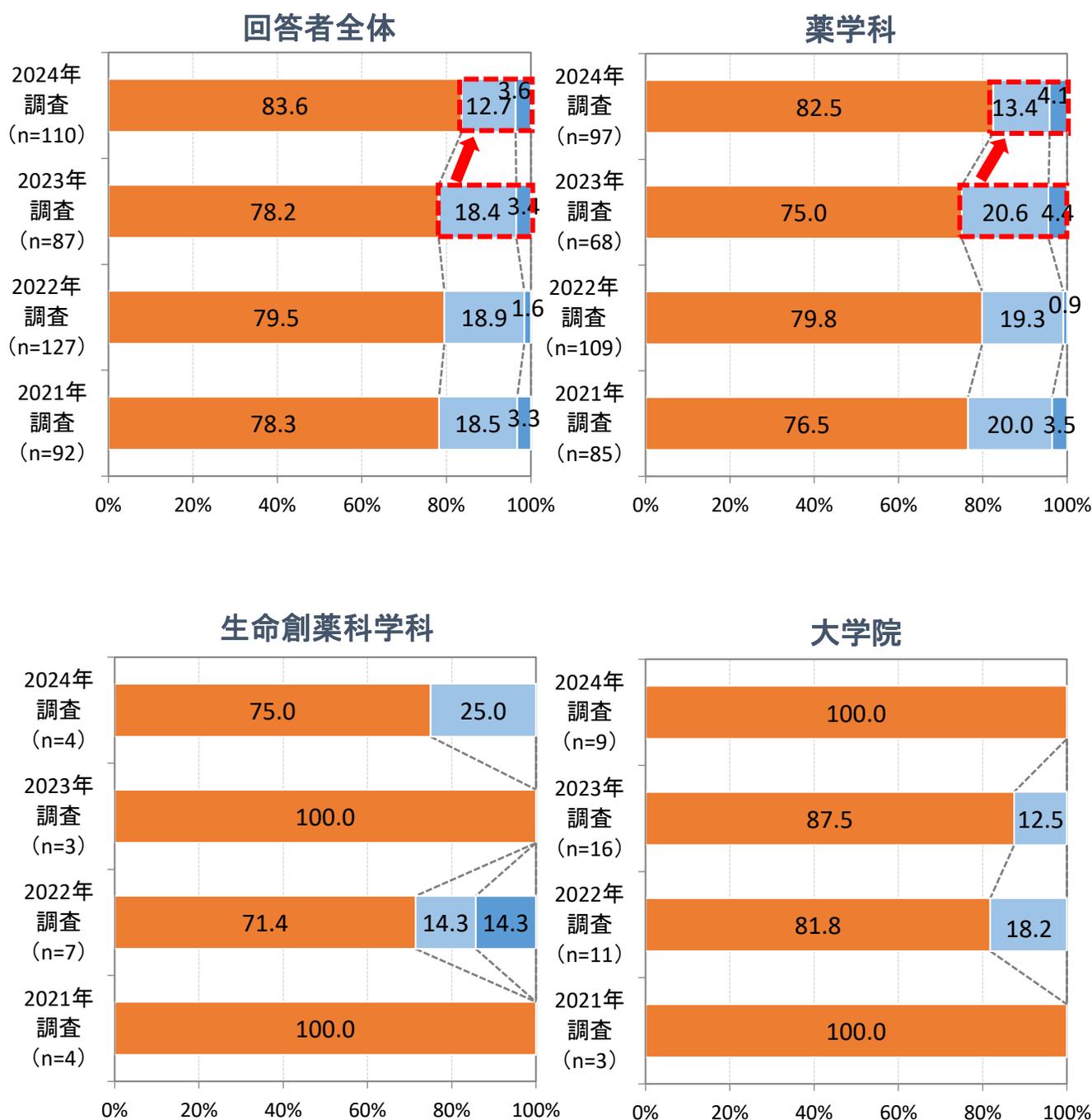
薬学科では、17.5%が転職・離職の経験あり。2023年調査と比べ7.5pt減少した。

設問3 あなたの転職・離職経験についてお聞きます。

■ Q3-1. 転職・離職の経験について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 転職・離職の経験がない
- 2. 転職・離職を1度経験した
- 3. 転職・離職を複数回経験した



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**転職・離職後の業種は全体で「保険薬局」が35.3%で最多
次いで「企業(その他)」23.5%、「企業(製薬)」11.8%**

転職・離職後の現在の業種について、回答者全体では「保険薬局」が2023年調査より9pt増加し、35.3%で最多。次いで「企業(その他)」23.5%、「企業(製薬)」11.8%。

2023年調査で次点の「ドラッグストア」は、2024年調査では該当者が0人であった。

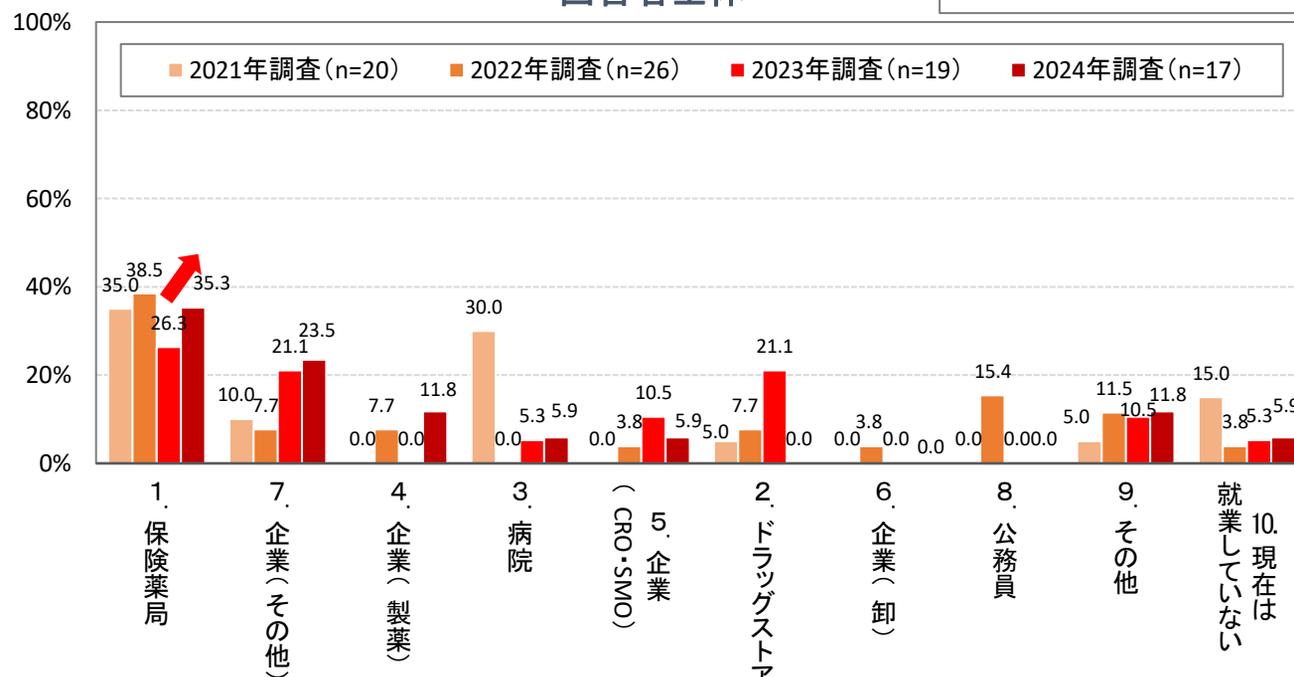
設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-1. あなたの現在勤めている業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

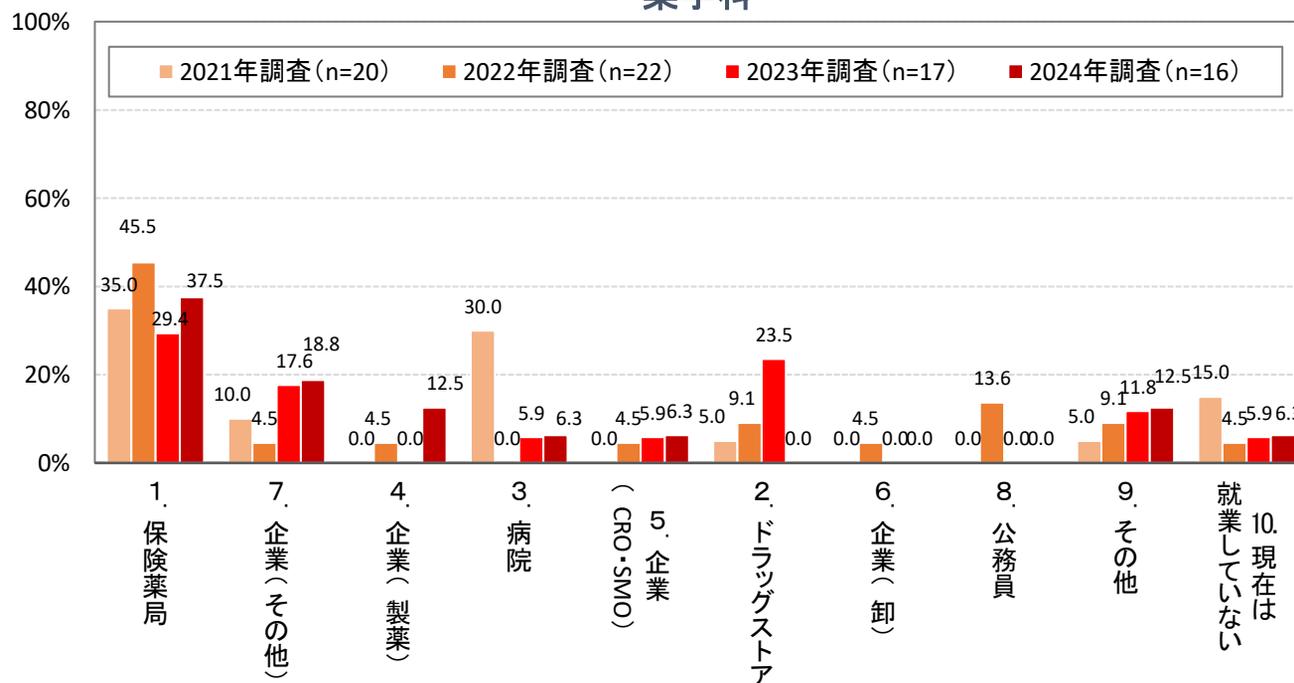
※2024年調査全体スコアで降順ソート

その他内訳
●薬学科
化粧品販売：1名
自営業：1名

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

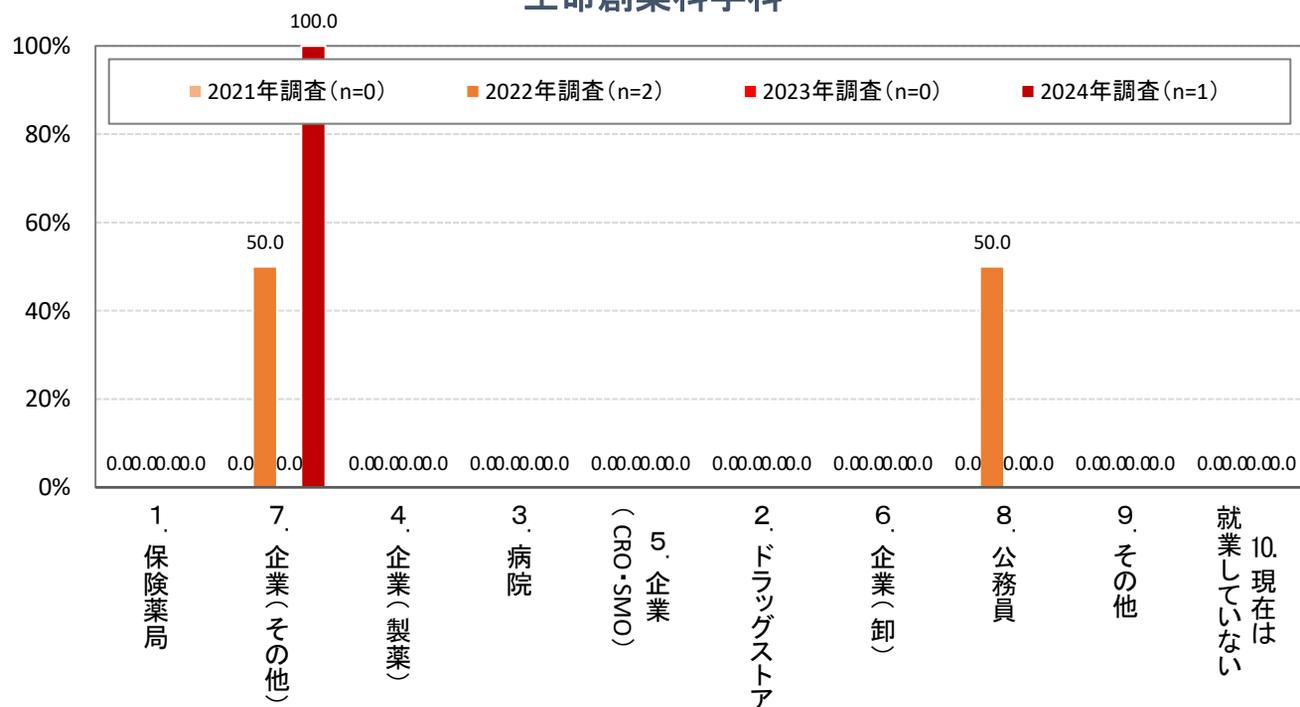
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

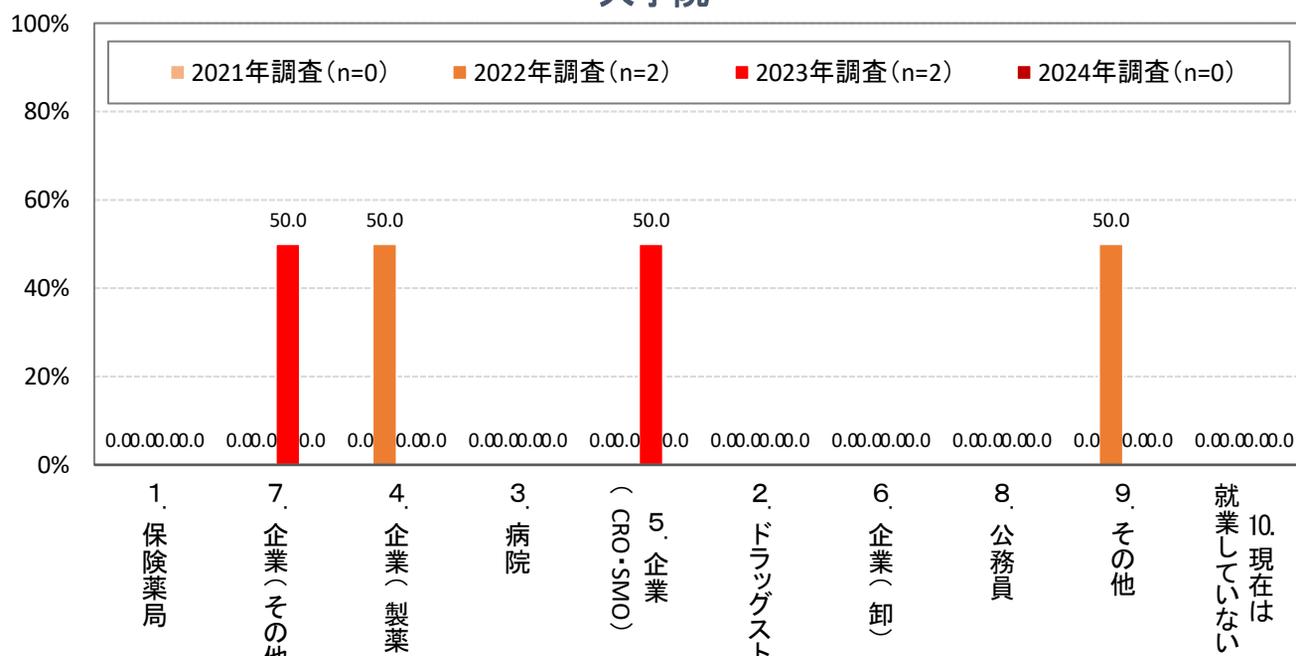
■Q4-1. あなたの現在勤めている業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2024年調査全体スコアで降順ソート

生命創薬科学科



大学院



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

薬学科の転職・離職後の職種は「薬剤師」が50.0%で最多だが、回答者全体、薬学科ともに「薬剤師」は減少傾向

転職・離職後の現在の職種について、回答者全体のうち47.1%が「薬剤師」と回答。「薬剤師」のスコアは2021年調査から減少傾向が続いている。

薬学科では、「薬剤師」が50.0%で最多だが、2023年調査より8.8ptも減少し、過去調査以来、最も低い。

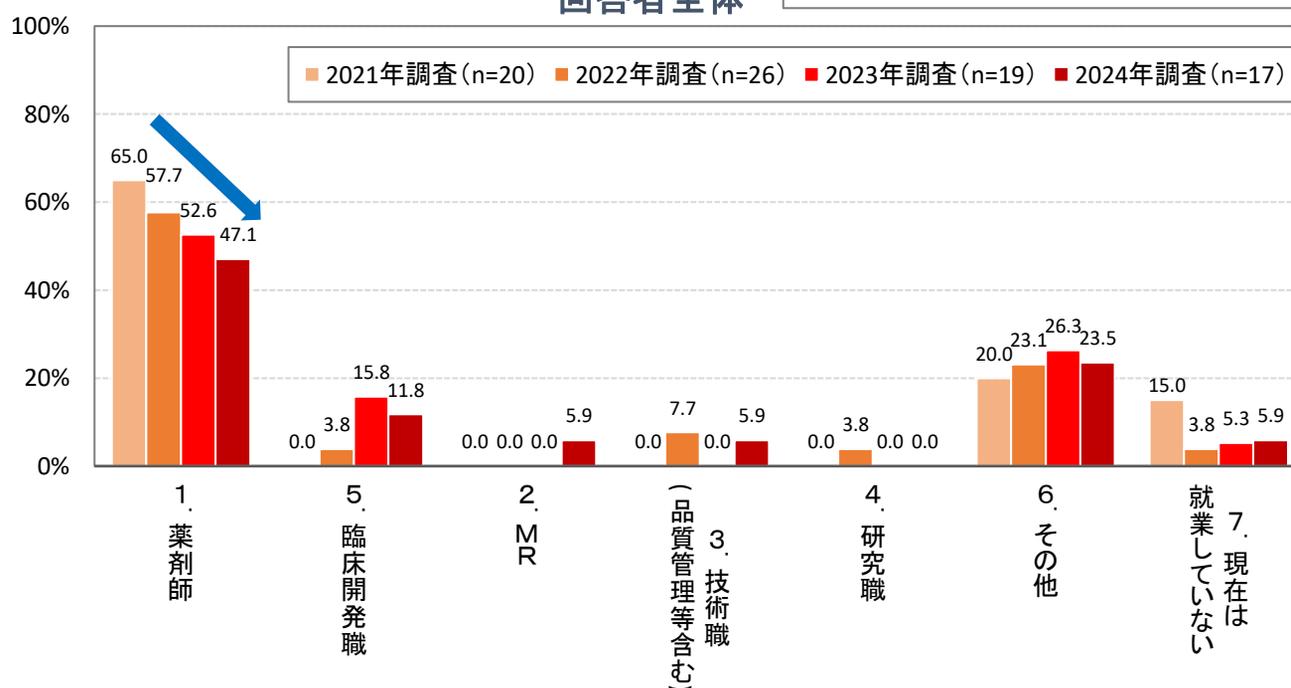
設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■ Q4-2. あなたの現在の職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

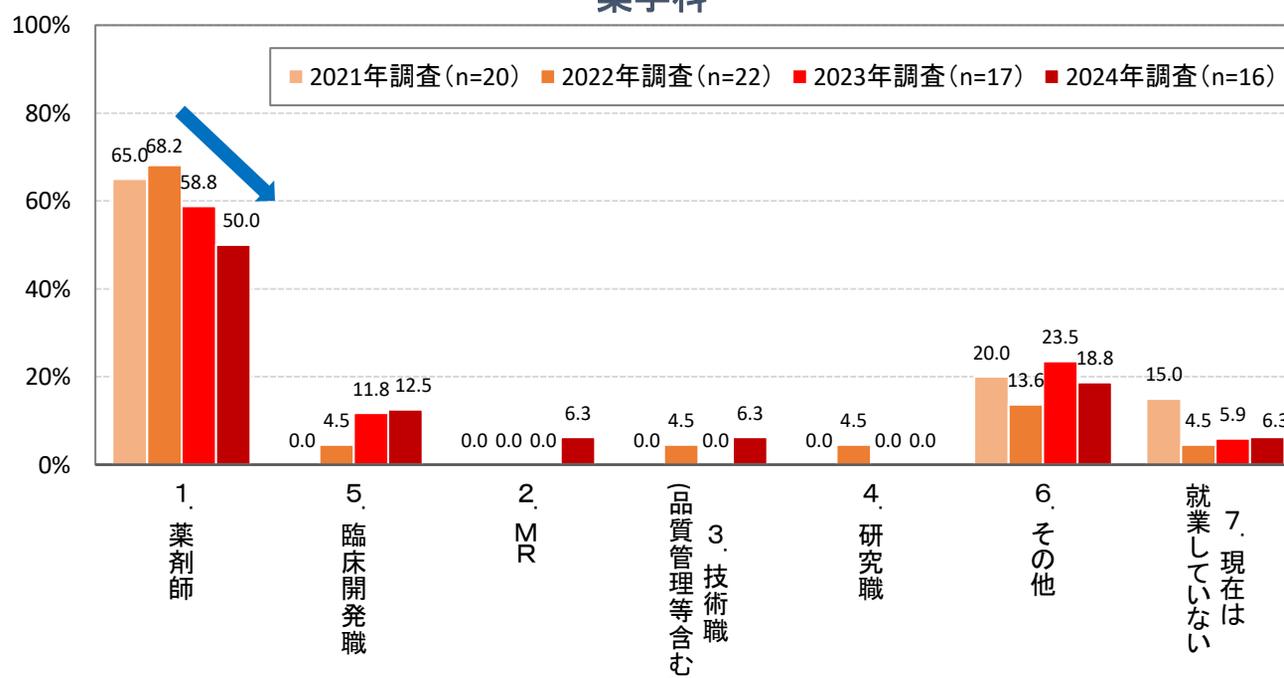
※2024年調査全体スコアで降順ソート

その他内訳
●薬学科 ●生命創薬科学科
製造責任者：1名 medical editor：1名
ウェブマーケティング：1名
講師：1名

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

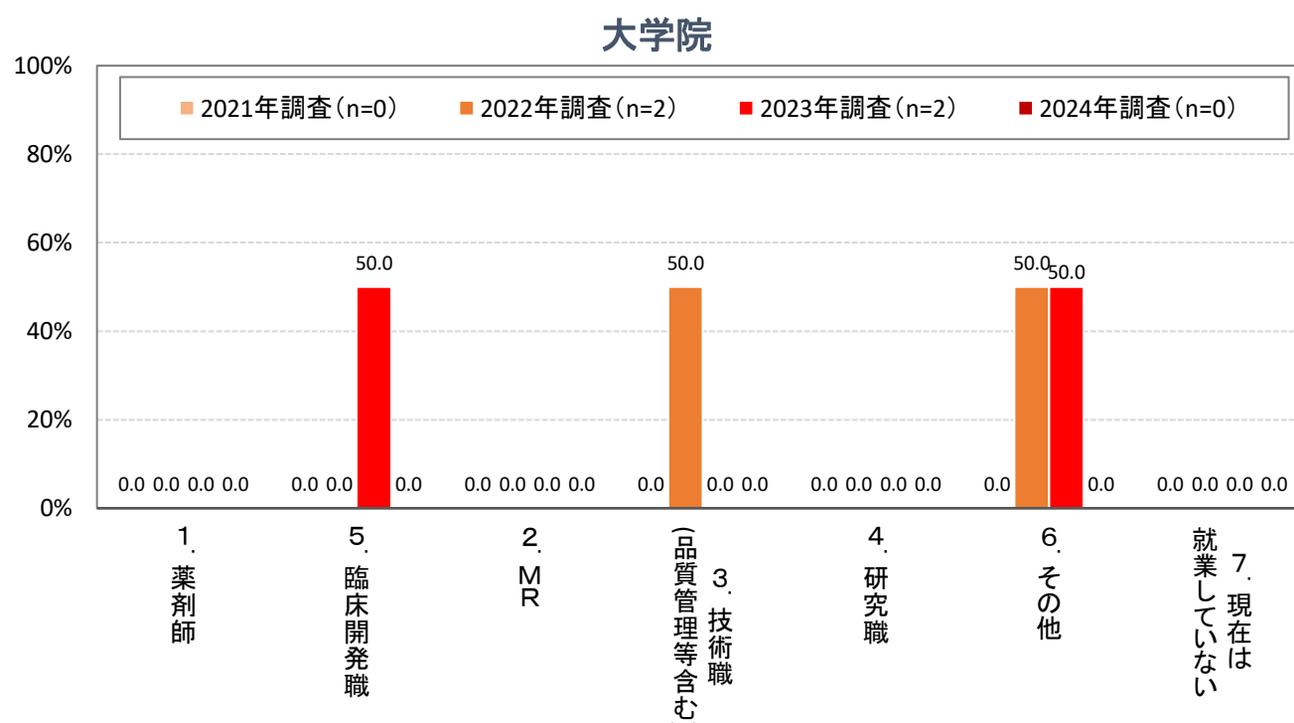
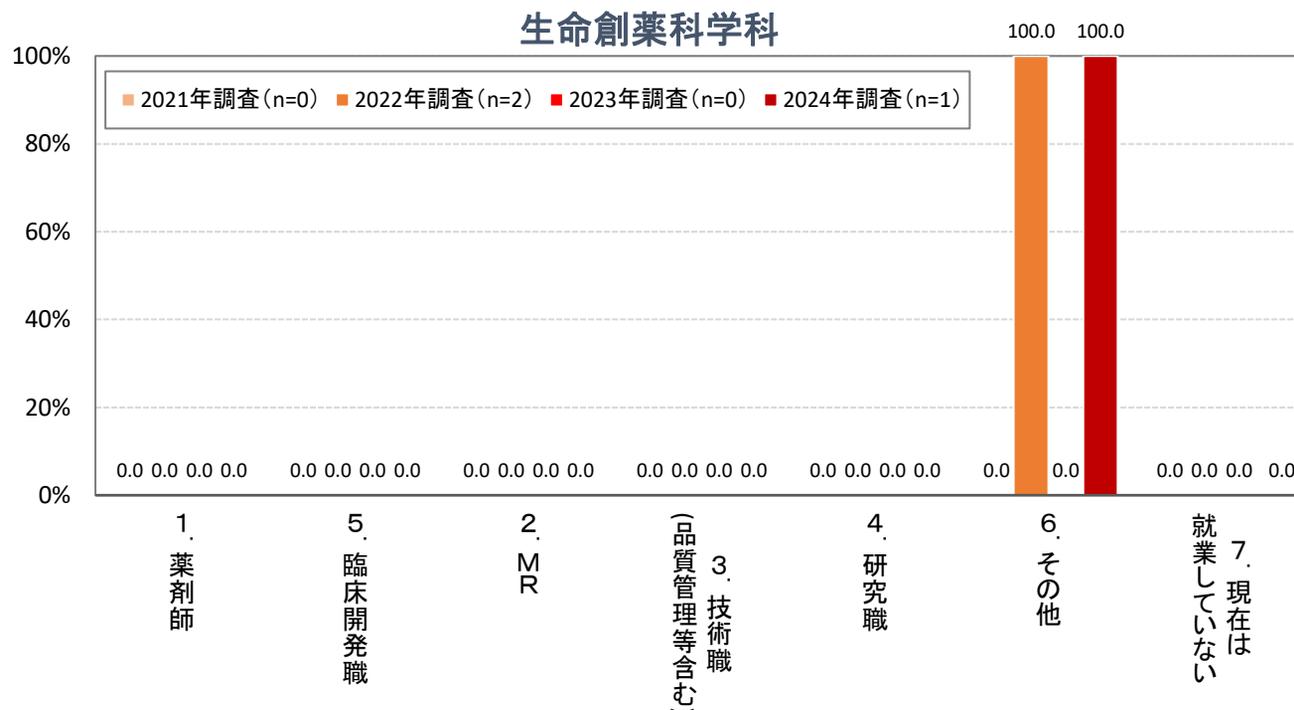
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-2. あなたの現在の職種について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2024年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**転職・離職経験者の5割が在職2年未満で前職を離れている
2023年調査では7割を超えていたが、今回は20pt以上大幅減**

転職・離職経験者について、回答者全体のうち在職期間が「～2年未満」の人は50.0%で、2023年調査と比べ22.2ptと大幅に減少。
過去調査以来、最も減少した。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-3. 前職の在職期間について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

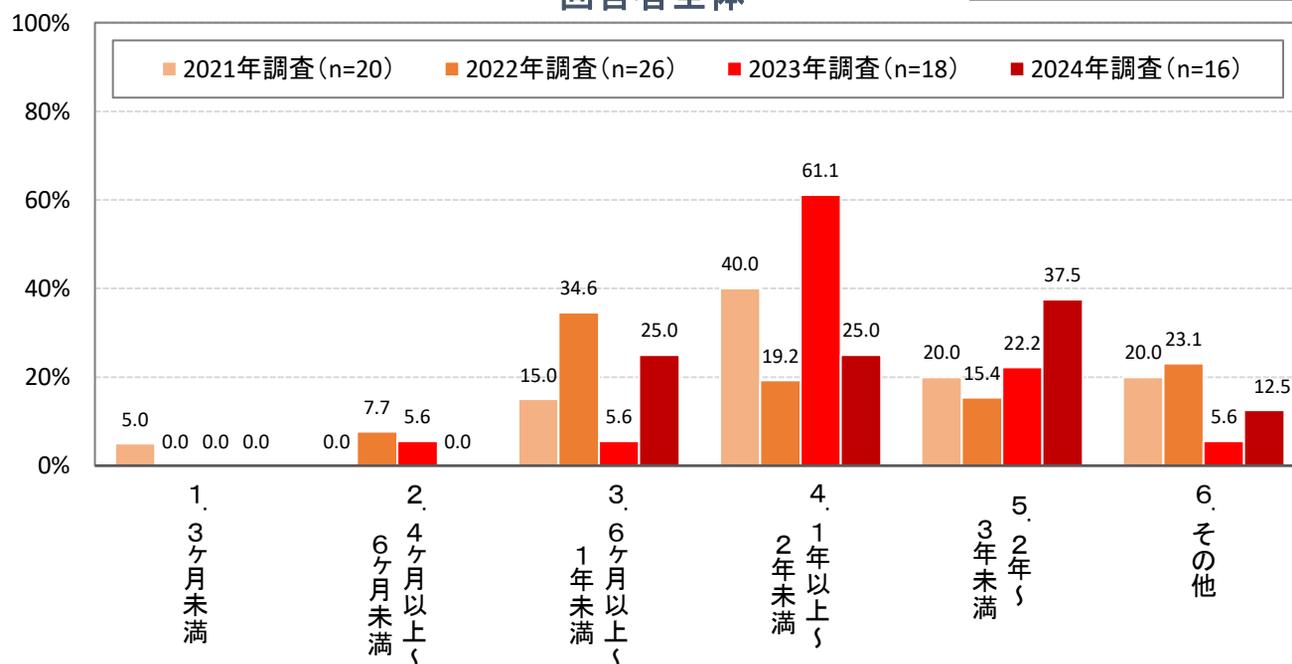
その他内訳

●薬学科

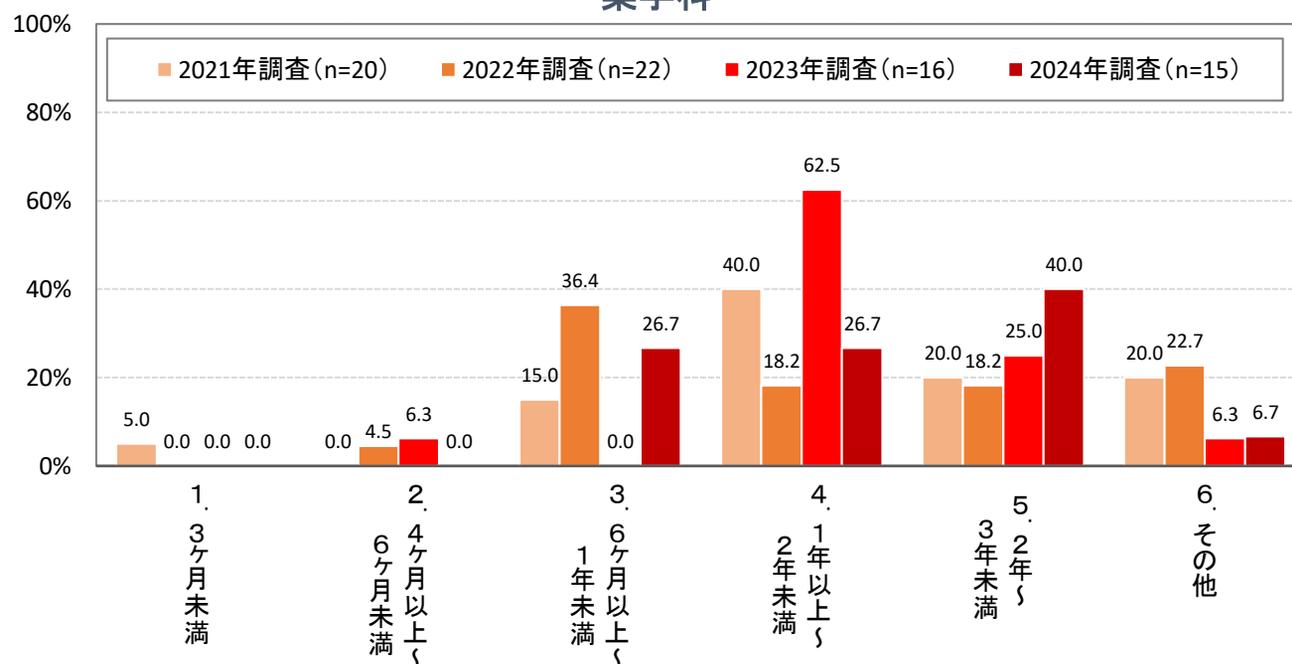
3年1ヶ月：1名

3年以上：1名

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

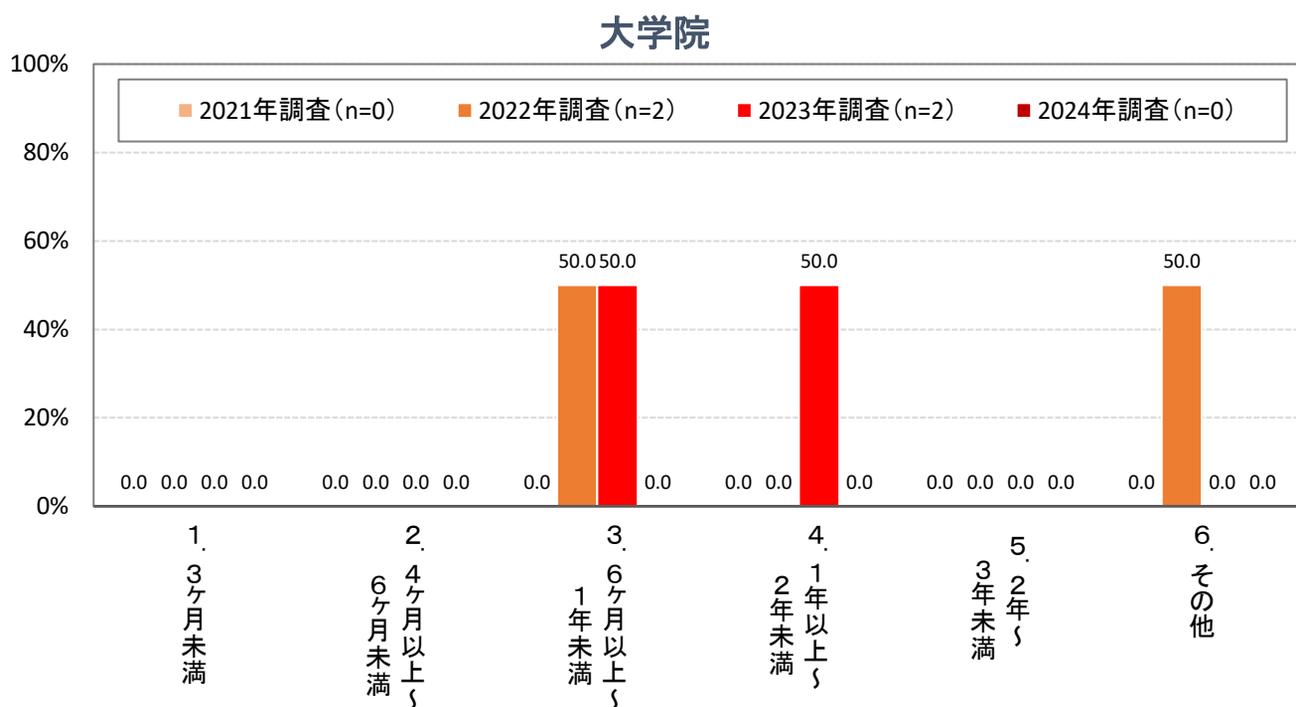
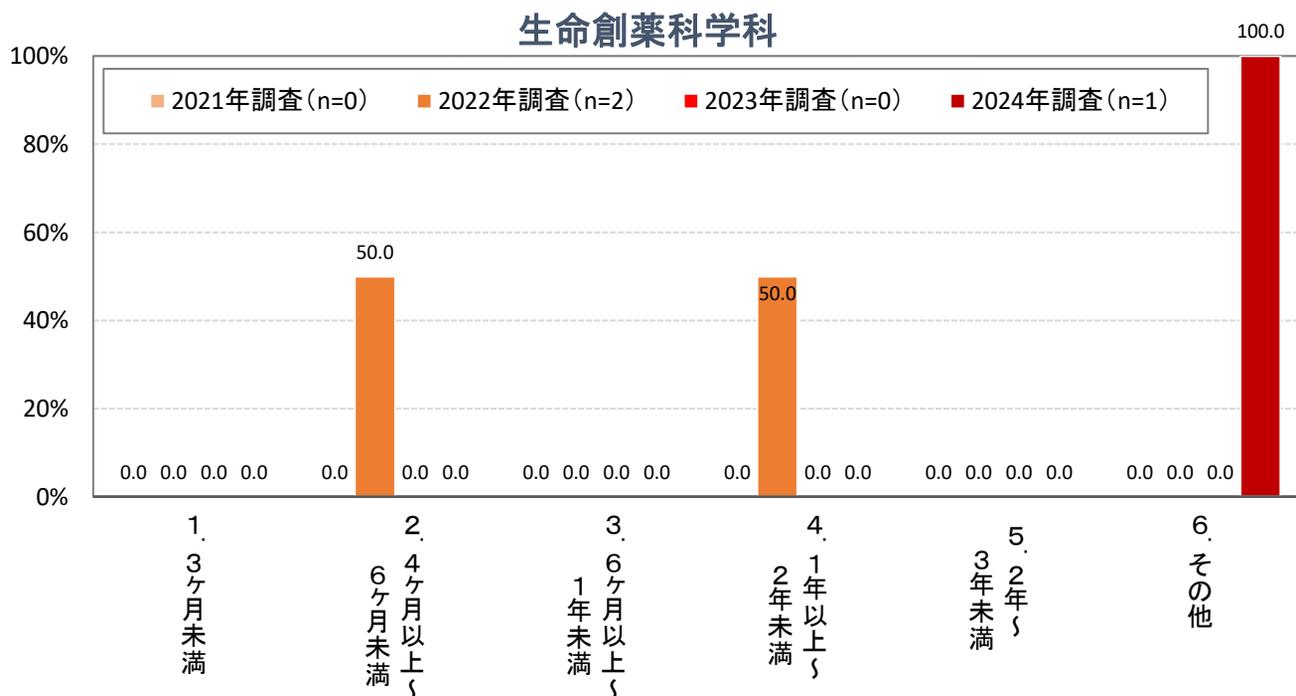
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-3. 前職の在職期間について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**転職・離職の最も強い理由は
「労働環境の改善」の58.8%**

転職・離職理由について、回答者全体のうち58.8%が「労働環境の改善」と回答し、2023年調査より4.4pt減少。そのほか2024年調査では、「給与面の待遇」「職場の人間関係の問題」「新たな経験や能力を身につけるため(同・異業種でのスキルアップ)」などの数値が高い。

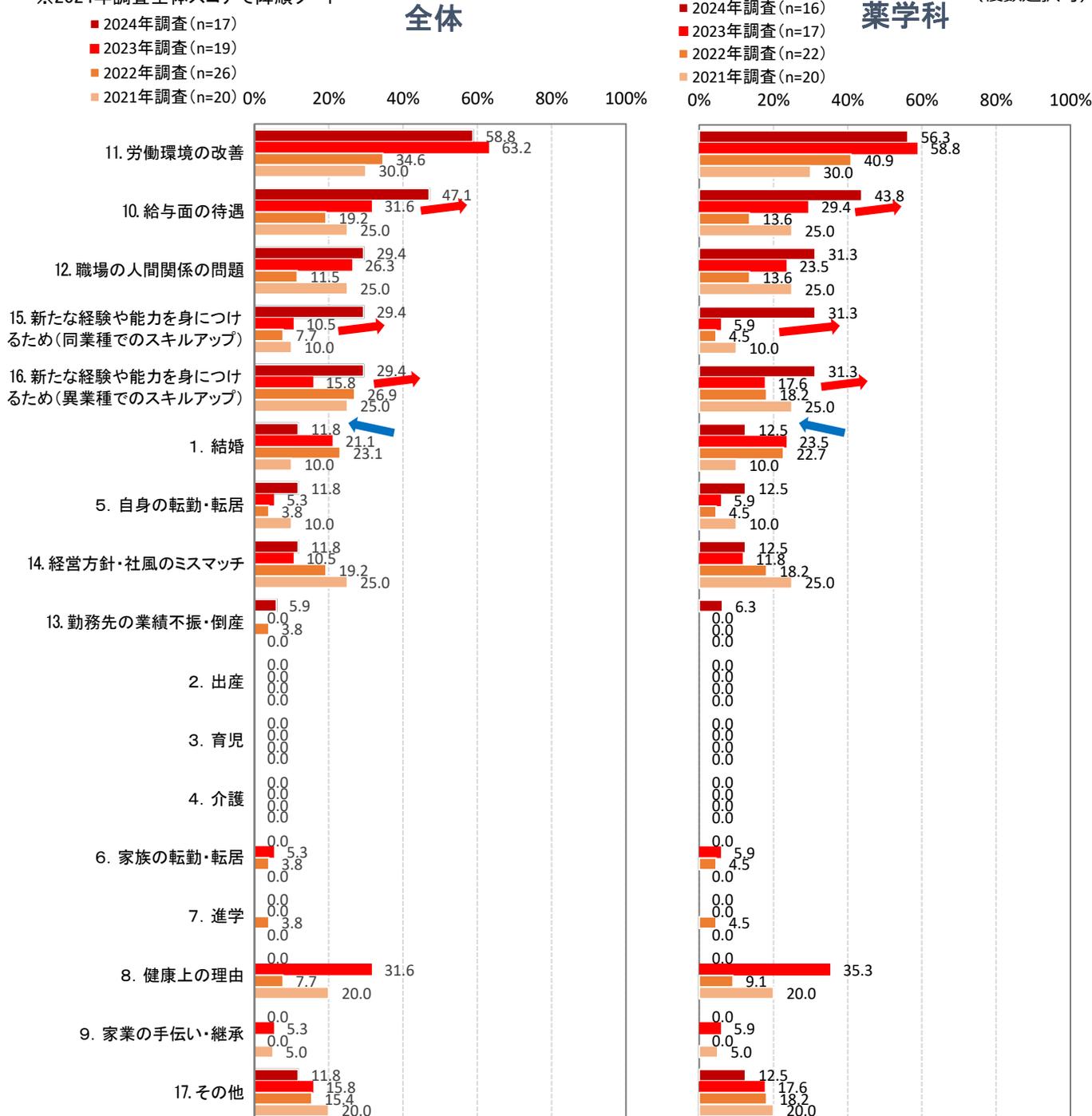
全体、薬学科ともに「給与面の待遇」「新たな経験や能力を身につけるため」は大幅増。一方で「結婚」は減少。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■ Q4-4. 転職・離職の理由について
あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

※2024年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

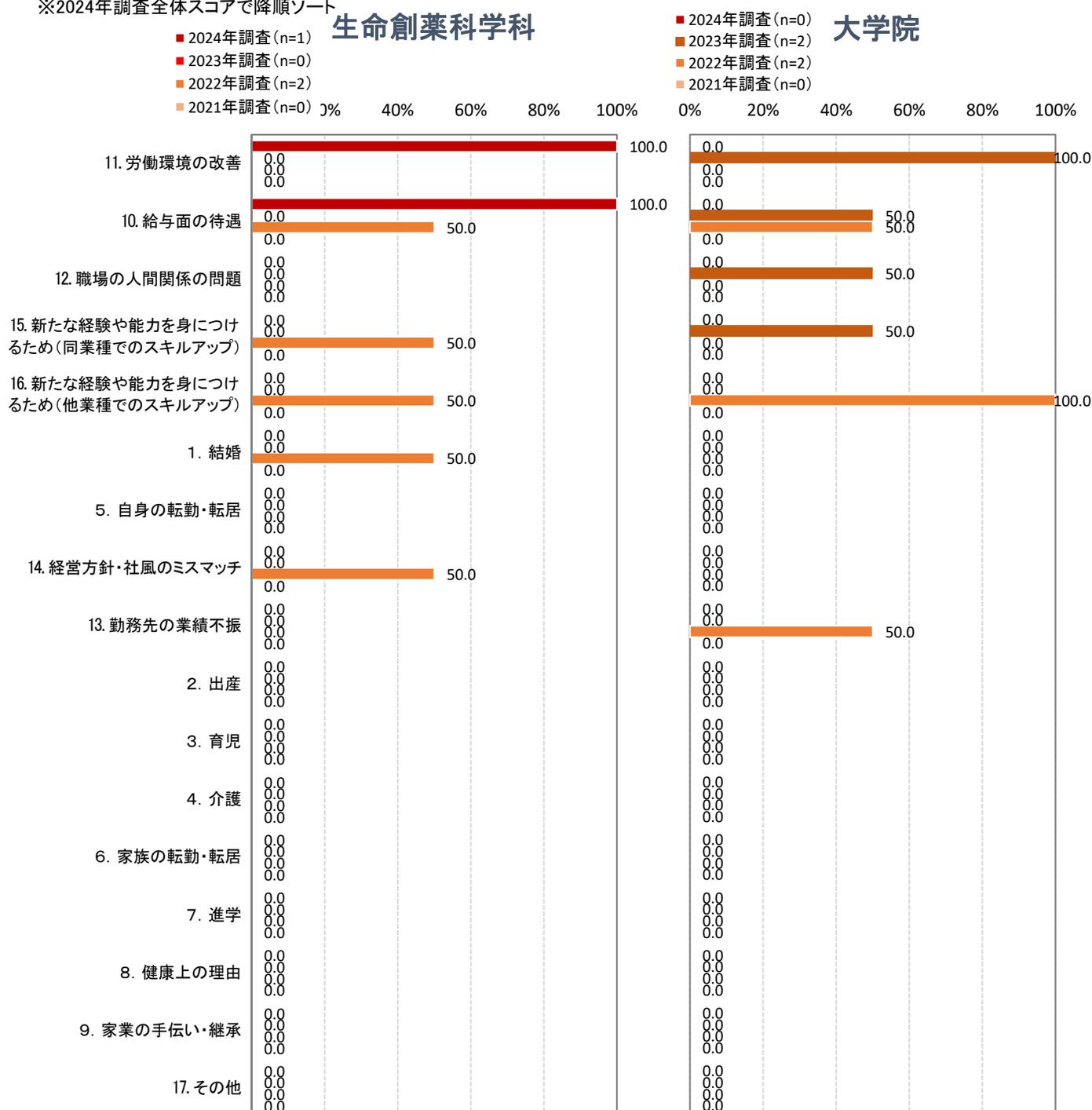
■ Q4-4. 転職・離職の理由について

あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数選択可)

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

※2024年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

薬学科の具体的な転職・離職理由は、
「**キャリアや将来についての不安**」が多い

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

■Q4-5. Q4-4で回答した 転職・離職の理由について

特に決め手となった理由、その具体的な内容をよろしければ教えてください。

(自由記述形式)

●薬学科

労働環境に不満
過酷な労働環境、低給を改善しなかったため
キャリアや将来について
当時就職していた企業でのキャリアプランが不安があったため
前職においてパイプラインがなかったため、グローバルな仕事をしなかったため
経営方針の違い
やりたい仕事ではなかった

●生命創薬科学科

労働環境に不満
全日出社の会社に勤めていたのでリモート可の環境が決め手になりました

●大学院

回答なし

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

転職・離職をする際に7割が「転職エージェント」に相談 「父親・母親」に相談する人は大幅に減少

全体のスコアでは、転職・離職をする際の相談相手について、「転職エージェント」が最多で68.8%を占め、2023年調査より大幅に増加。
回答者全体、薬学科ともに前回トップの「父親・母親」が20pt近く大幅に減少。「大学時代の友人・先輩・後輩」は増加傾向にある。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

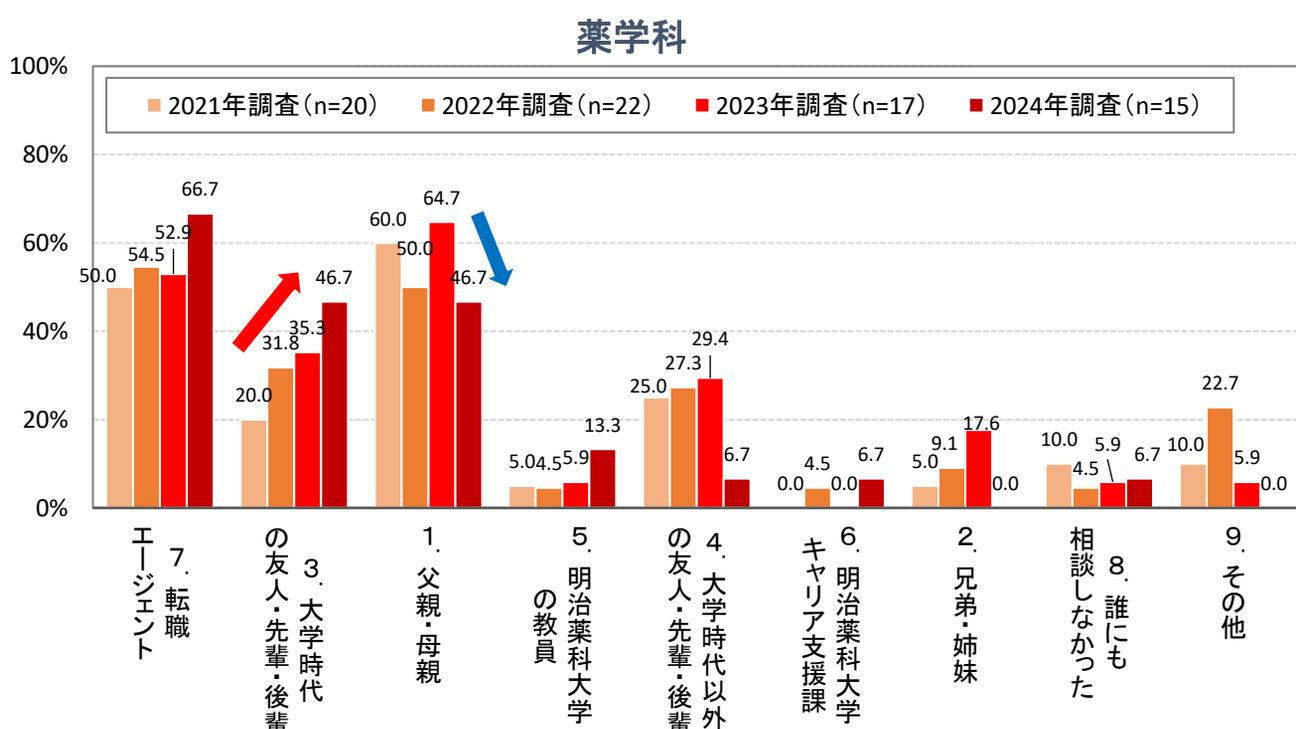
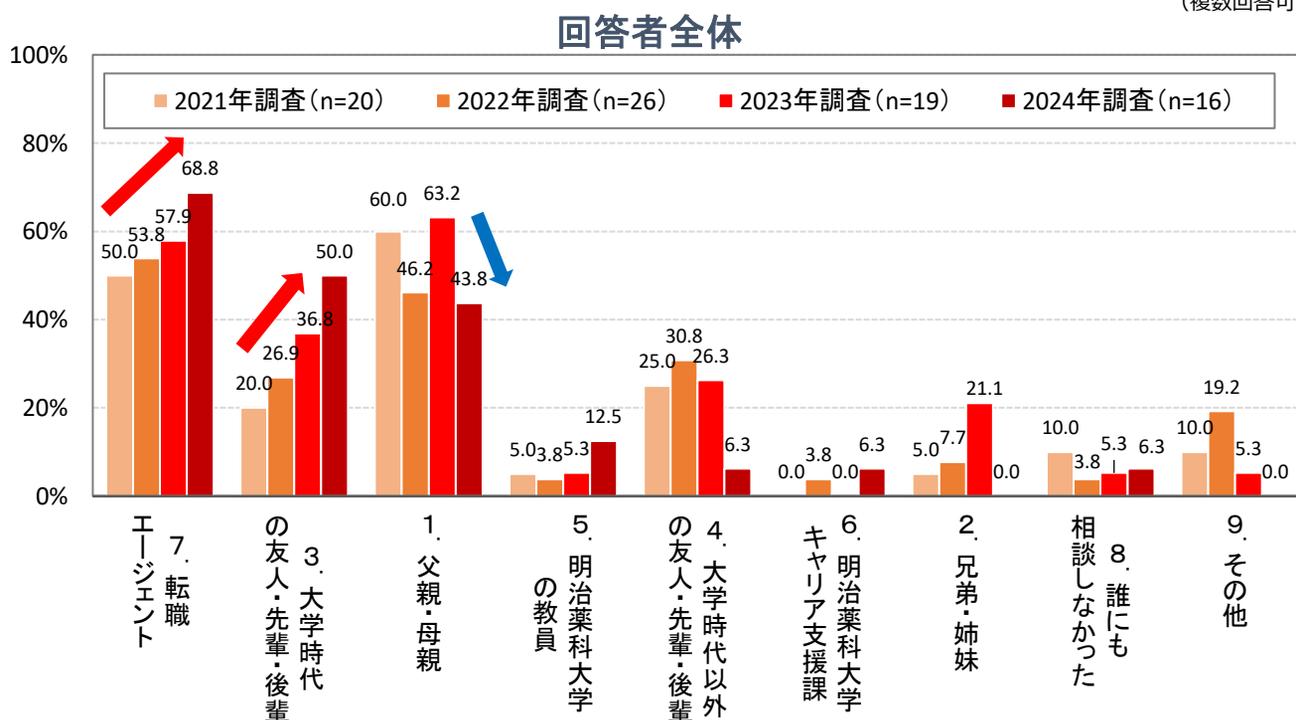
■ Q4-6. 転職・離職をする際、あなたが相談した相手について
あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

※2024年調査全体スコアで降順ソート

その他内訳

該当なし

(複数回答可)



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

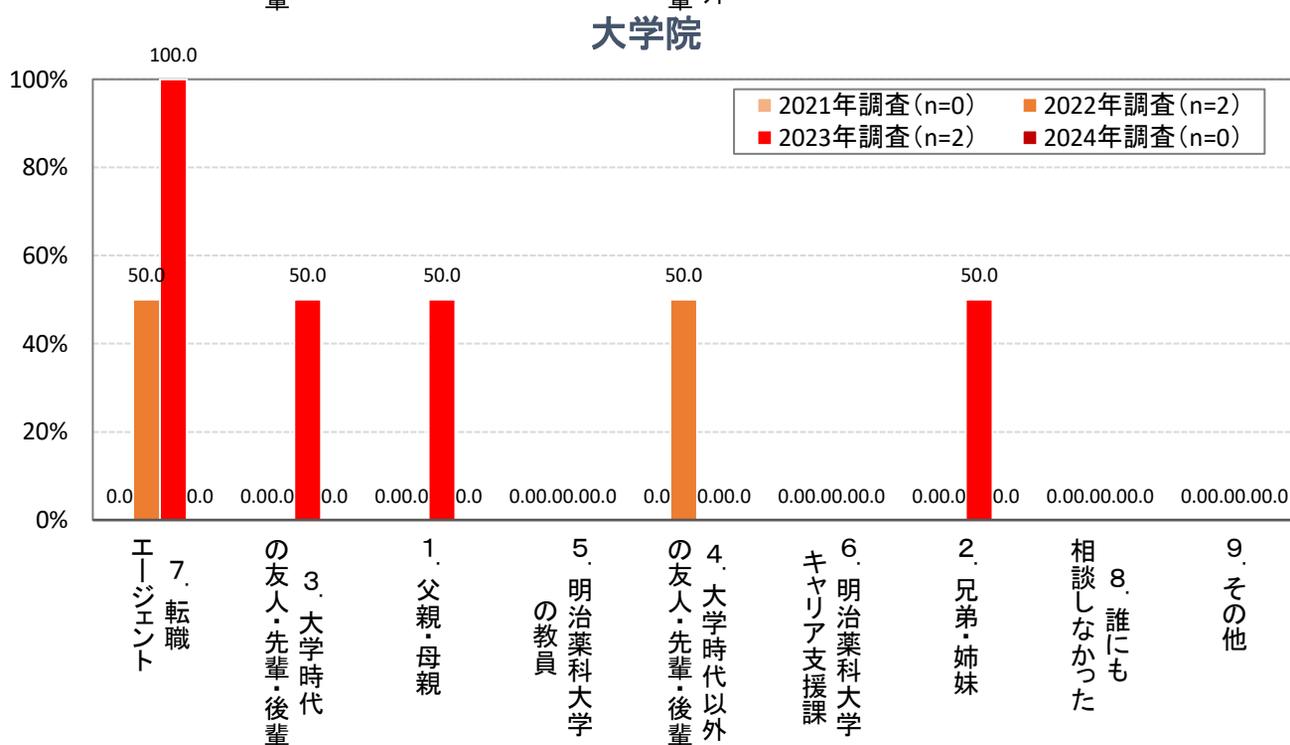
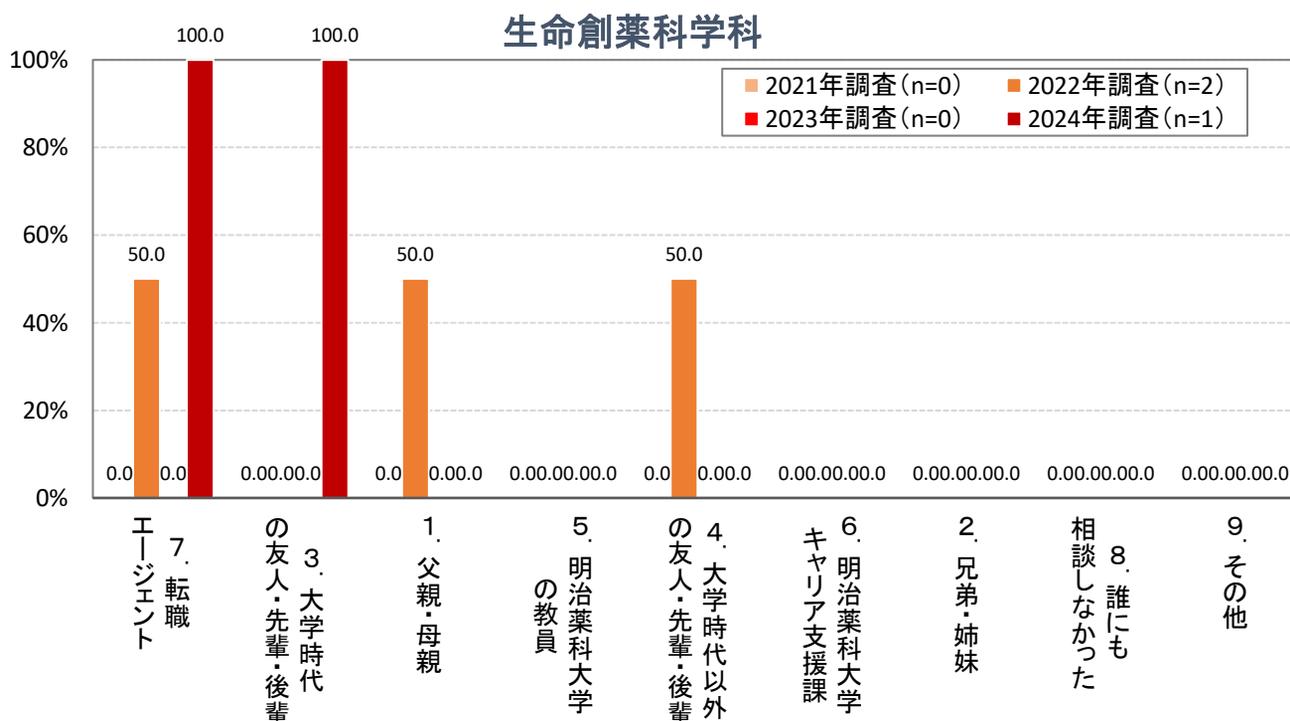
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-6. 転職・離職をする際、あなたが相談した相手について
あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数回答可)

※2024年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 5. 現在の就業先について

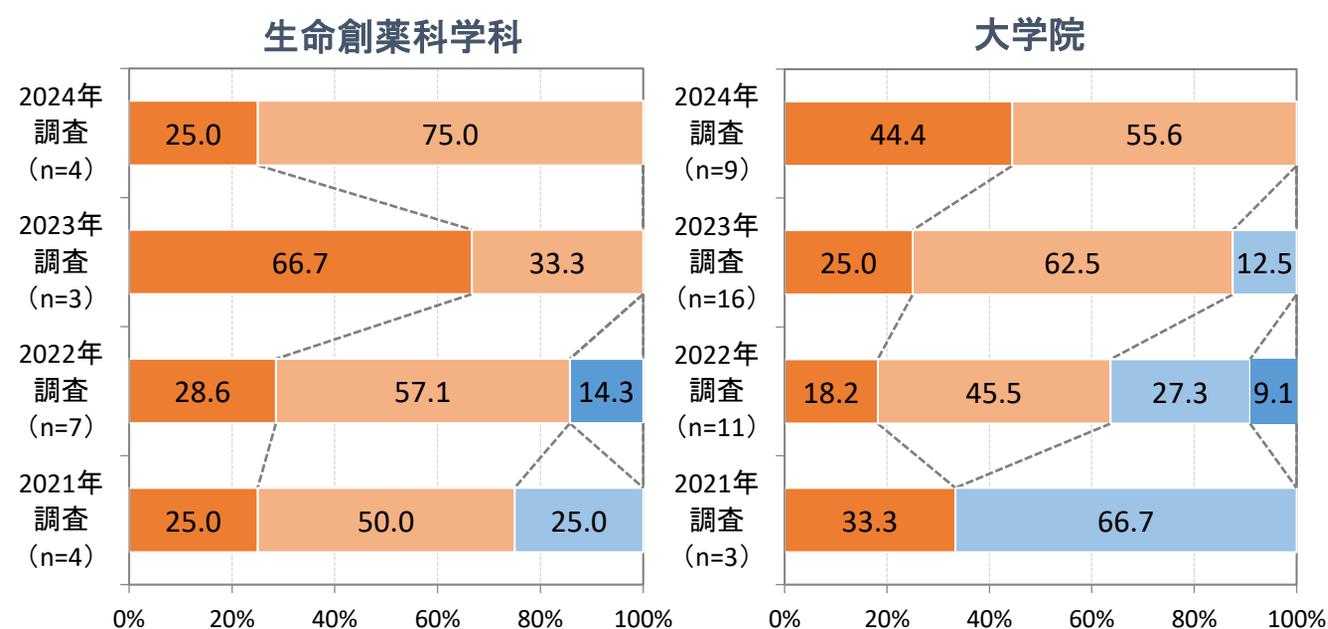
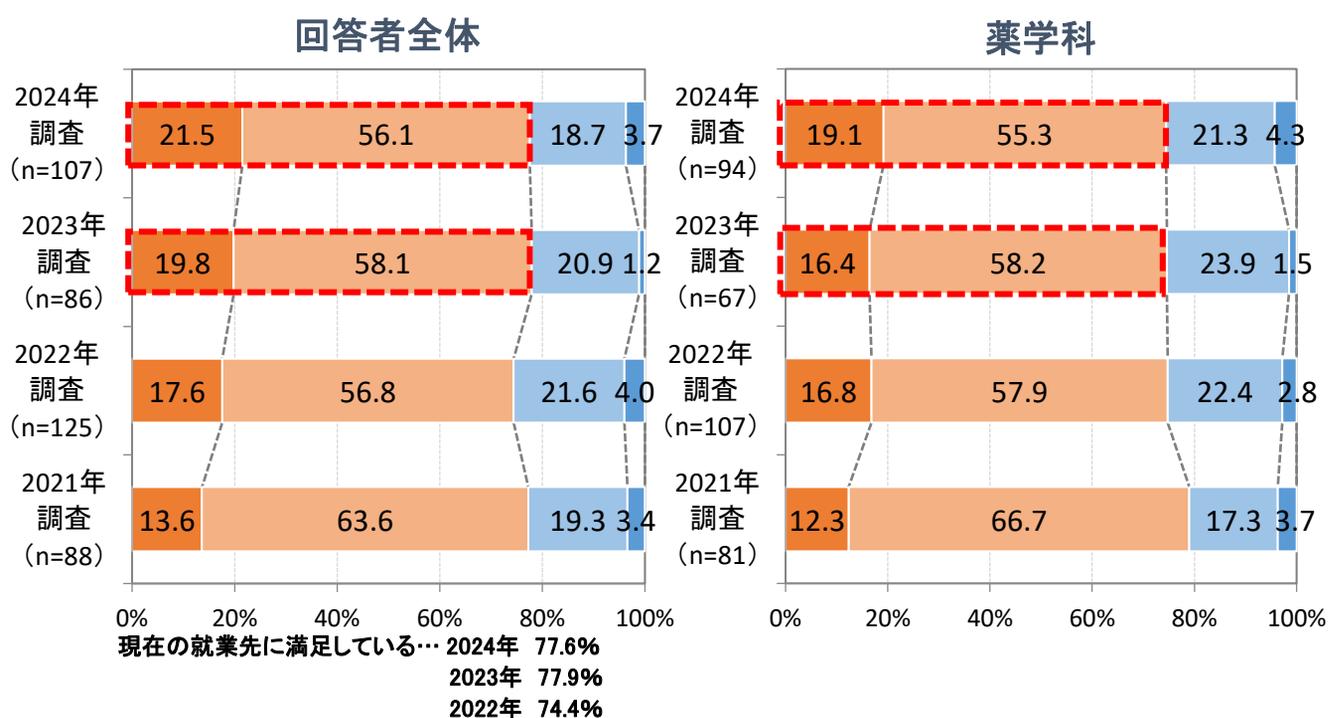
**現在の就業先の満足度は、回答者全体で77.6%
2023年調査から横ばい**

現在の就業先に対する満足度について、回答者全体のうち77.6%が満足していると回答。
2023年調査と同程度。
薬学科の満足度も2023年調査と同程度。

設問5 現在の就業先についてお聞きします。

■ Q5-1. 現在勤めている就業先に対する満足度について
あてはまる番号を 1つ 選び、○をつけてください。

■ 1. 非常に満足している ■ 2. やや満足している ■ 3. あまり満足していない ■ 4. 不満である



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問5. 現在の就業先について

設問5 現在の就業先についてお聞きします。

■Q5-2. Q5-1で回答した現職満足度について

満足に思っている理由、不満に思っている理由をくわしくお聞かせください。

(自由記述形式)

●薬学科：満足に思っている理由

業務内容・環境が良い/成長できる/やりがいを感じられる
やりがいを非常に感じているから
興味のある職種であること、労働環境・待遇が良いこと
業務内容も職場環境も自分に合っているから
順調にキャリアを積めており、やりがいも感じるため
職場の環境やキャリアアップのための支援、調剤システムの充実、休みの取りやすさといった点に満足。給与面では不満を感じる
やりたかった業種、職種のため。この職種についてはどこの会社に就職したからと言ってやる業務は同じなので特に不満も満足もしていない
業務内容、環境がよいため
満足:病棟業務、委員会、調剤、注射業務と仕事内容が多岐に渡り、やりがいがある。大学での学習が仕事に活かされていると感じる 不満:給与が他業種に比べて低いと感じる
概ね予想通りの働き方ができているから
仕事にやりがいを感じる。人にも恵まれている
薬剤師業務だけでなく、研修や学術研究にも携わることができておもしろい。人員が少なめなので仕事量が多い
働き方の自由度が高い。キャリアアップへの意欲を汲んでくれる。薬を必要としている人に届けられる。社会貢献ができる
そこまで大規模ではない病院なので4年目でもある程度の裁量を持って仕事ができる。反面業務量が多いと感じることもある
英語を話す機会がある
労働環境が良い
仕事とプライベートを両立しながら過ごせているため
ノルマなく働けているため
希望休が取りやすく、配置店舗も人間関係を考慮してくれるため
仕事内容としては体力・精神的に辛いこともあるが、有休取得が個人の裁量で自由に取れ、職場の雰囲気も和やかで居心地も良い
産休、育休がきちんと取れる
通勤がしやすく、職場環境が良いため
福利厚生などがしっかりしている、休みを取りやすいことは満足に思っているが、薬学とは関係のない業務の課に配属されることもある
労働環境が今までと比べものにならないほど良い
働き方が自分に合っているから
自分の業務をコントロールできていれば好きなタイミングで有給休暇を取得できるため
人間関係が良好
人は良い。業務体制は不満に思う点がある
人間関係が比較的良好、過度な残業はないが人手不足もあり多忙
何かわからないことがあったときに相談できる方が多いことは良いと思います
人間関係が前の職場より良い
職場の人間関係が良好だから
人が良い、中小企業であるためチームの人数が少なく1年目から責任感のある仕事を任せられる、意見が通りやすい。経営状況が良くなく将来に不安がある
周りの先輩が良い方ばかりです
人間関係は良好、福利厚生に満足している
給与が良い
仕事に見合った給料である

次ページへ→

設問 5. 現在の就業先について

設問5 現在の就業先についてお聞きします。

■ Q5-2. Q5-1で回答した現職満足度について

満足に思っている理由、不満に思っている理由をくわしくお聞かせください。

(自由記述形式)

● 薬学科：不満に思っている理由

業務内容に不満がある
やりたいことができないので
労働環境・体制が良くない
公休数が少ない
教育体制が不十分
前職と比較して企画側の仕事ができている一方で、会社として年功序列(仕事をする目的の一番手に上司を納得させること)の風土があるため、長く前向きに働く想像ができない
残業が多い
スタッフへの配慮がたりない
仕事量が多い
自慢の法令遵守は薬局業務のみ。22時を超えて業務をすること多々あり
業務内容は充実しており学べることも多いためやりがいを感じているが、会社都合による度々の異動・通勤規定より長い通勤時間に負担を感じている
残業が多く、プライベートの時間や自己研鑽の時間がとりづらい点
店舗、エリアともに人員が不足しており、一人にかかる業務負担が大きいから
給与面に不満がある
給与、ボーナスがあまり高くない
給料が安い
給与が低い、人員不足、業務過多
将来性に期待はできない
大学では主に「臨床で働く」薬剤師としてカリキュラムが組まれ、国家試験もそれに準じる形で学んできた一方で、企業に入って大学で学んできた知識をほとんど生かす場がなく、結果的に病院に転職予定。時間やお金のもったいなさもあるが、それ以上に自分の興味が薬剤師として臨床で働く先にあったことに気付いた。(国の思うツボなのかもしれませんが)
会社の賃金値上げなどの積極性がない、将来性が見込めない

次ページへ→

設問5. 現在の就業先について

設問5 現在の就業先についてお聞きします。

■Q5-2. Q5-1で回答した現職満足度について

満足に思っている理由、不満に思っている理由をくわしくお聞かせください。

(自由記述形式)

●生命創薬科学科：満足に思っている理由

業務内容・環境が良い/成長できる/やりがいを感じられる

社員同士の繋がり、仕事としての経験が十分に良い/得られている

ずっと憧れていた研究職に就けたことにとても満足しているが、新規リード化合物を見出すことの難しさを感じている

●生命創薬科学科：不満に思っている理由

給与面に不満がある

給料があまり上がらない

●大学院：満足に思っている理由

業務内容・環境が良い/成長できる/やりがいを感じられる

研修が充実しているため

大学で得た知識や知見を活かして働けているから

待遇が良い。仕事量に関わらず給与が同じ

数字に追われながらも活動に伴った達成感を感じることができるから

●大学院：不満に思っている理由

回答なし

設問 6. 明治薬科大学における学修経験について

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度について、薬学科では「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」が最多

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度について、「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」が56.8%で最多だが、僅差で「医療人としての社会的使命感」55.8%が続く。「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」「医療人としてのコミュニケーション能力」「生涯にわたって学修する習慣」は2023年調査に比べ10pt近く減少。

設問6 あなたの 明治薬科大学における学修経験 についてお聞きます。

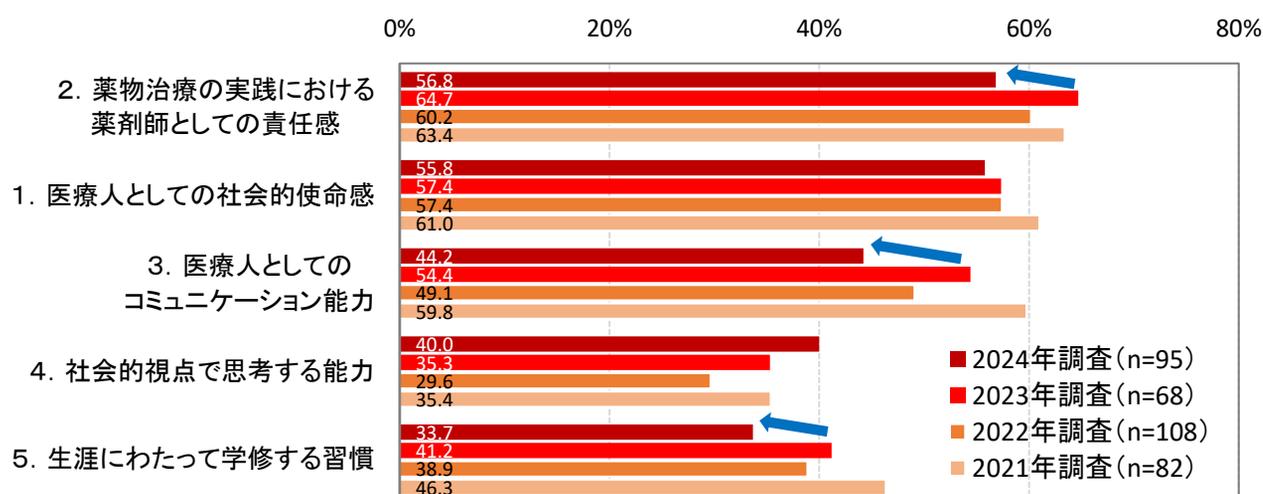
■ Q6-1. 薬学科ご卒業の方にお聞きます。

大学において修得した基本的な知識・技能・態度から、卒業後の現時点で自身が修得していると思われる事項 を次の中からすべて選び、○をつけてください。

※2024年調査スコアで降順ソート

薬学科

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度 (複数回答)



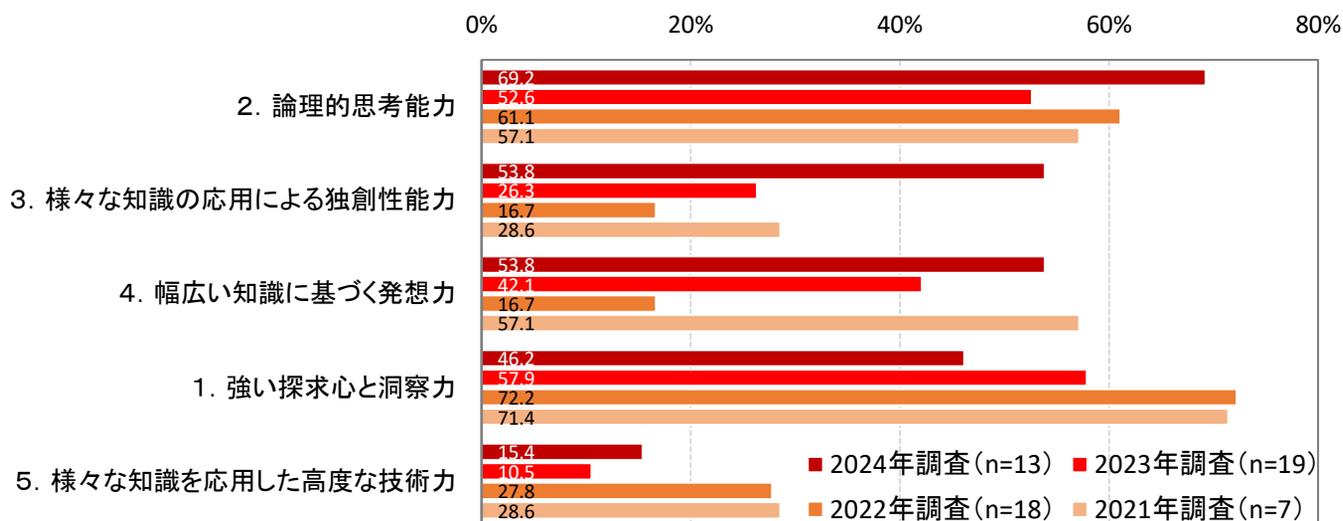
■ Q6-2. 生命創薬科学科 および 大学院博士課程 (前期) ご卒業の方にお聞きます。

大学において修得した基本的な知識・技能・態度から、卒業後の現時点で自身が修得していると思われる事項 を次の中からすべて選び、○をつけてください。

※2024年調査スコアで降順ソート

生命創薬科学科・大学院

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度 (複数回答)



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問7. 明治薬科大学の就職支援について

設問7 明治薬科大学の就職支援についてお聞きします。

- Q7. 明治薬科大学の就職支援について
ご意見・ご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。

(自由記述形式)

●薬学科

就職支援に関する意見
転職の相談をしたときは卒業していたにも関わらず親身に相談に乗ってくださって嬉しかったです。ありがとうございました！
自己分析や就職先選びで大変お世話になりました。ありがとうございました
講演会は参考になった
就活の際、大学の企業への就職力が弱いように感じた。他の大学よりも縦の関係が少ないようにも感じた。OB会や講演会など開いて欲しいと思った
esの手直しや就職相談等、在学中は大変お世話になりました。在学中に不満を感じた事はありません
卒業生の就職先と積極的に関わった方がよいと思います（例：病院見学）
情報提供に関する意見
企業ごとの先輩方の就活の記録が参考になった
その他
自分の中で「病院就職はないわ」などと選択肢を自ら狭めてしまい、話を聞くチャンスを逃すことがないようにすることが大切だと思います。あとは新卒にこだわり過ぎないことでしょうか…。私が就活するときにフロネシスでどなたかからか話があってすごく印象に残っているのが、「製薬メーカーと病院は新卒じゃないと難しい」ということです。転職活動や転職後の大変さが違うのかも実際のところわかりませんが、転職が絶対できないわけではないですし、新卒というカードにこだわりすぎて本当に自分が進みたい道や興味がわからなくなってしまうのはもったいないと思います

●生命創薬科学科

就職支援に関する意見
あまり就職活動の準備を出来ておらず、初めての面接の前に何を対策していいかわからなかった際に相談させていただきました。私の希望職種に合った面接の質問についての受け答えと一緒に考えてくださり、また模擬面接もしていただきました。おかげで本番は緊張しつつもすらすらと受け答えをこなすことができました

●大学院

その他
すごく正直に述べると、あまりにも元所属の研究室の人が受けに来すぎている（おそらく今のところ毎年受けている）